

キットSDS表紙文書番号: A41499: Rev. AE
改訂 (年/月/日) 2016/09/29

製品に関する情報

製品名	Agencourt Genfind V2 血液および血清 DNA 抽出キット
製品番号	A41499, A41497

構成

内容	Agencourt Genfind V2 プロテナーゼK Agencourt Genfind V2 血中 PK バッファ Agencourt Genfind V2 リシス バッファ Agencourt Genfind V2 バインディング バッファ Agencourt Genfind V2 洗浄液 2 Agencourt Genfind V2 洗浄液 1
----	---

輸送情報

本品はICAO、IATA DGR、IMDG、US DOT、欧州ADRおよびRID、またはカナダTDGでの輸送上の規制はありません。



安全性データシート

文書番号: A41499 Rev. AE
改訂 (年/月/日) 2016/09/29

1. 化学品及び会社情報

製品特定名		
製品名	Agencourt Genfind V2 プロテナーゼK	
製品番号	P/Nの構成 A41497, A41499	
物質 / 混合物の関連用途及び推奨されない用途		
製品の使用	研究用。詳細は添付文書を参照してください。	
本安全性データシートの供給者の詳細情報	製造業者	EC REP 住所
	Beckman Coulter, Inc. 250 S. Kraemer Blvd Brea, CA 92821, U.S.A. Tel: 800-854-3633	Beckman Coulter Eurocenter S.A. 22, rue Juste-Oliver, Case Postale 1044, CH-1260 Nyon 1, Switzerland. Telephone +41 (0)22 365 36 11 Monday through Friday, 9:00 am to 7:00pm)
e-mail アドレス	SDSNT@beckman.com	
緊急時電話番号		
電話番号(24時間対応)	Chemtrec 緊急連絡電話番号 米国 800-424-9300、国際電話 (001) 703-527-3887	
販売業者および緊急時の連絡先	最寄りの営業所および緊急電話番号に関しては別紙一覧表 (書類番号 : 472050) を参照してください。	

2 危険有害性の要約

物質 / 混合物の分類	
製品の説明	混合物 白; 不透明; 凍結乾燥粉末; 無臭
EC 1272/2008 (CLP/GHS)による分類	皮膚刺激性 区分 2 眼刺激性 区分 2 呼吸器感作性 区分 1 特定標的臓器毒性 単回ばく露 区分 3
EC指令1999/45/EC及び67/548/EECによる分類	Xn;R36/37/38-42

2 危険有害性の要約 (続き)

US-OSHA (HCS 29 CFR 1910.1200)およびUN GHSによる分類

皮膚刺激性 区分 2
眼刺激性 区分 2
呼吸器感作性 区分 1
特定標的臓器毒性 単回ばく露 区分 3

ラベル要素

EC 1272/2008 (CLP/GHS)、US-OSHA、およびUN GHSに準拠

危険有害成分

蛋白分解酵素 K

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

H315 皮膚刺激。
H335 呼吸器への刺激のおそれ。
H334 吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ。
H319 強い眼刺激。

危険有害性情報

P261 蒸気の吸入を避けること。
P501 地域/国の規制にしたがって内容物/容器を廃棄すること。
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/顔面保護具を着用すること。
P284 換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。
P302+P352 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
P304+P340 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗ってください。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。
P312 気分が悪い時は医師に連絡すること。
P332+P313 皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。
P337+P313 眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。
P342+P311 呼吸に関する症状が出た場合：「中毒センター」または医師に連絡してください。
P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、使用前に洗濯をしてください。
P403+P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
P405 施錠して保管すること。
P271 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

製品ラベルには非常に重大な危険有害性情報が表示されます。

2 危険有害性の要約 (続き)

他の危険有害性

PBTおよびvPvB評価の結果

PBT: 該当しない。

vPvB: 該当しない。

健康に関する詳細はセクション11の毒物に関する情報を参照してください。

3 組成及び成分情報

混合物

危険有害成分:		純粋成分の災害分類			
化学物質名	重量による%	EU-67/548/EEC	EU 1272/2008 CLP/GHS	GHS	
蛋白分解酵素 K CAS # 39450-01-6 EINECS # 254-457-8 インデックス番号 情報なし	80 - 100	Xn;R36/37/38-42	Eye Irrit. 2 Resp. Sens. 1 STOT SE 3 Skin Irrit. 2 H315; H319; H334; H335	Eye Irrit. 2 Resp. Sens. 1 STOT SE 3 Skin Irrit. 2 H315; H319; H334; H335	

職業ばく露限界についてはセクション8参照

その他の規制情報についてはセクション15参照

危険有害性分類、危険有害性表示及びリスクフレーズ記述についてはセクション16参照

4 応急措置

応急措置についての記述

吸入した場合

もし本品を吸入した場合、吸入者を空気の新鮮な場所へ移動させてください。呼吸をしていない場合、訓練を受けた人物による人工呼吸を行い、すぐに医師の手当を受けてください。

目に入った場合

もし本品が目に入った場合、緩やかな水道水で15分以上まぶたを開けて目を洗ってください。痛みや刺激が生じた場合は、医師の診察/手当を受けてください。

皮膚についた場合

皮膚に付いた場合は、大量の水で洗い流してください。汚染された衣服および靴は脱いでください。痛みや刺激が生じた場合は、医師の診察/手当を受けてください。

飲み込んだ場合

もし本品を飲み込んだ場合、水で口をすすいでください。刺激や不快感が生じた場合は、すぐに医師の手当を受けてください。

急性及び遅延性の最も重要な症状/影響

健康に関する詳細はセクション11の毒物に関する情報を参照してください。

皮膚、目、粘膜、および上気道に刺激を起こすことがあります。

吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ。

応急処置及び必要とされる特別な処置の指示

特別な治療や処置は必要ありません。

5 火災時の措置

可燃性特質	不燃性
消火剤	火災では二酸化炭素 (CO ₂)、粉末消火剤、噴霧水または泡消火剤を用いる。 大規模火災では周辺火災に適した消化剤を用いる。
物質 / 混合物から生じる特別な危険有害性 特別な火災及び爆発危険性	特別な危険有害性は確認されていません。
有害燃焼生成物	本製品からは重大な危険性のある燃焼生成物は発生しません。
消火作業員への注意	
保護具	すべての薬品火災では消防隊員に自給式の呼吸装置を推奨します。
その他の情報	追加の関連情報なし。

6 漏出時の措置

人体に対する予防措置、保護具及び緊急時措置	
人体に対する予防措置	保護手袋/保護衣/保護眼鏡/顔面保護具を着用すること。 防護のための一般安全ガイドラインを遵守してください。目および皮膚に触れないようにしてください。
環境に対する予防措置	漏出液を容器に回収し、他への流出を防いでください。 未希釈製品が下水、地表水又は地下水に入らないようにしてください。 地域の規制にしたがって内容物/容器を廃棄すること。
封じ込め及び浄化方法と機材	
流出および漏出時の措置	予防措置として、こぼした物質は漂白剤を水で1:10希釈した溶液で処理してください。処理した液を吸引し適切な廃棄用容器に入れてください。作業中は飛沫が生じないように注意してください。適用を受ける廃棄物処理基準に従ってください。 製品が固体または凍結乾燥状態の場合、こぼれた物質は吸引するか注意して掃き集めて適切な廃棄用容器に入れてください。粉塵を発生させないようにしてください。
他のセクションへの参照	セクション8 および13を参照してください。

7 取扱い及び保管上の注意

安全な取扱いのための予防措置 安全基準に従ってください。目や皮膚に触れないようにしてください。

7 取扱い及び保管上の注意 (続き)

混触危険性等、安全な保管条件

製品ラベルに記載のとおり、-25~-15°Cの範囲で保管すること。
 製品の品質を維持するため製品ラベルの記載内容に従い保存してください。
 強酸、強塩基、強酸化剤および不適合物質から離して保管してください (セクション10)。

特定の最終用途

追加の関連情報なし。

8 ばく露防止及び保護措置

管理指標

許容濃度

米国 OSHA	未設定
ACGIH	未設定
DFG MAK	未設定
アイルランド	未設定
IOELVs	未設定
NIOSH	未設定
Japan	未設定

ばく露防止

設備対策

特に技術的な制御は必要ありません。良好な通常の換気を使用してください。

眼の保護具

目に入らないように保護眼鏡を着用してください。
 U.S. OSHA 29 CFR 1910.133、欧州規格 EN166 又は適切な政府規格を参照。

皮膚の保護具

Nitrileまたはそれと同等の不浸透性の手袋および保護衣を着用してください。
 U.S. OSHA 29 CFR 1910.138、欧州規格 EN 374、EN 14605:2005+A1:2009、またはその他の適切な政府機関の規則を参照してください。

呼吸用保護具

通常の使用条件では、本品の使用には保護マスク等の制約はありませんが、換気が適切に行われず過剰量の暴露の恐れがある場合は、資格を有する専門家に保護マスク等の使用を相談してください。

9 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

外観等	凍結乾燥粉末	比重 (水 = 1.0)	未定・不明
色	白	溶解性	
透明度	不透明	水	混和
臭い	無臭	有機溶媒	未定・不明

9 物理的及び化学的性質 (続き)

pH	適用外	n-オクタノール / 水分配 係数	適用外
融点	未定・不明	自然発火温度	未定・不明
沸点	適用外	分解温度	未定・不明
引火点	適用外	揮発性	適用外
蒸発率	適用外	蒸気圧	適用外
燃焼性 (固体、気体)	未定・不明	粘度	適用外
燃焼又は爆発範囲の上 限・下限	未定・不明	爆発性	適用外
蒸気密度	適用外	酸化性	適用外
臭いの閾値	適用外		
その他の情報	追加の関連情報なし。		

10 安定性及び反応性

反応性	追加の関連情報なし。
化学的安定性	本品は推奨する保管条件で安定です。
危険有害反応性の可能性	追加の関連情報なし。
避けるべき条件	不適合な物質との接触を避けてください。 熱や直射日光に触れないようにしてください。
混触危険物質	強酸、強塩基、強酸化剤
危険有害性のある分解生成物	重大な危険を引き起こす分解生成物は本品 (水溶液) には含まれていません。

11 有害性情報

毒性影響に関する情報	
危険有害成分の毒性データ	適用外
被曝の主要経路	目との接触、摂取、吸入、および皮膚接触。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	皮膚刺激。

11 有害性情報 (続き)

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	強い眼刺激。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ。
発がん性	本品はACGIH (米国産業衛生専門家会議)、IARC (国際がん研究機関)、NTP (米国国家毒性プログラム)、OSHAまたは1272/2008/EC規則により発がん物質として記載されている成分の報告可能濃度である (≥ 0.1%) を含有していません。
生殖細胞変異原性	入手可能なデータによる分類対象外です。
生殖毒性	入手可能なデータによる分類対象外です。
特定標的臓器毒性、単回ばく露	入手可能なデータによる分類対象外です。
特定標的臓器毒性、反復ばく露	入手可能なデータによる分類対象外です。
吸引性呼吸器有害性	入手可能なデータによる分類対象外です。
その他の情報	追加の関連情報なし。

12 環境影響情報

生態毒性	
淡水生物種	情報なし
マイクロトックス	情報なし
ミジンコ	情報なし
淡水藻類	情報なし
残留性と分解性	本品では未定。
生物蓄積性	本品では未定。
土壌中の移動度	本品では未定。
PBT及びvPvB評価の結果	本品では未定。PBT (難分解性、生体蓄積性、毒性を有する物質) : 該当しない、vPvB (極めて難分解性、高い生物蓄積性を有する物質) : 該当しない。
他の有害影響	追加の関連情報なし。

13 廃棄上の注意

廃棄物処理方法	
製品廃棄物の処分	化学残留物や残った化学薬品は、常に特別廃棄物として処理してください。必ず、現地の公害防止法および該当する法令に従って処分してください。現地

包装の廃棄

の該当局、または認可を得た廃棄物処理会社に問い合わせ、確実に法令を順守してください。

使用済み/未使用の廃棄物および汚染された包装は国や地方自治体の規定に従い廃棄してください。該当する条件が不明確な場合は当局に問い合わせてください。

その他の情報

欧州廃棄物カタログ 18 01 06* : 危険物からなる化学品または危険物を含有する化学品。国、州および地方の関係法規に従って廃棄する。

14 輸送上の注意

本品はICAO、IATA DGR、IMDG、US DOT、欧州ADRおよびRID、またはカナダTDGでの輸送上の規制はありません。

14.1 UN/ID番号 : 輸送上規制されない

14.2 出荷名 : 輸送上規制されない

14.3 危険物クラス : 輸送上規制されない

14.4 容器等級 : 輸送上規制されない

14.5 環境有害性 : 輸送上規制されない

14.6 使用者に対する特別な注意事項 : なし

14.7 MARPOL条約附属書IIおよびIBCコードに基づくバルク輸送 : 該当しない

15 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則 / 法規 米国連邦および州の規則

SARA 313 成分の記載はありません。

CERCLA RG's, 40 CFR 302.4 成分の記載はありません。

California Proposition 65 成分の記載はありません。

Massachusetts MSL 成分の記載はありません。

New Jersey Dept. of Health RTK List
成分の記載はありません。

Pennsylvania RTK 成分の記載はありません。

EU規則

このSDSは、EC規則 1907/2006(REACH)及び改正に準拠します。

REACH 1907/2006 EC - 附属書XIV - 認可対象物質リスト。

成分の記載はありません。

15 適用法令 (続き)

EC 指令 (1999/45/ECおよび 67/548 EEC) による分類

有害
Xn



危険および安全用語

R42 吸入により感作を起こすことがあります。
R36/37/38 目、呼吸器系および皮膚に刺激あり。
S22 粉塵を吸引しないでください。
S36/37/39 適切な防護服、手袋および目/顔を保護するものを着用してください。
S26 目に触れた場合は直ちに大量の水で洗い、医師の手当てを受けてください。

カナダ

WHMIS 分類

D2B - 有毒性および感染性物質：分類2 - その他の毒性効果：有毒 (皮膚の炎症)
D2B - 有毒性および感染性物質：分類2 - その他の毒性効果：有毒 (目の炎症)
D2B - 毒性および感染性物質：分類2 - その他の毒性効果：有毒 (皮膚感作)
D2A - 有毒及び感染性物質：分類2 - その他の毒性：非常に有毒 (気道感作)

PIN

適用外

表示対象成分

なし

未知毒物の特性を有する成分

なし

化学物質安全性評価

化学物質安全性評価が行われませんでした。

セクション15に記載されているいくつかの有害成分は、OSHA および WHMIS の 1.0% w/w (発がん物質としては0.1%) 以下、または EU のセクション3で報告義務のある成分の特定濃度以下です。

16 その他の情報

ベックマン・コールター安全基準	可燃性: 0 健康: 3 反応性: 0 物理的接触: 3	コード 0=なし 1=軽度 2=中等度 3=重度
-----------------	---------------------------------------	--------------------------------------

改訂版変更

Section 1の製造業者の所在地を修正
セクション4, 8, 11を更新。
セクション16を更新。

セクション3からの危険有害性等級及びリスクフレーズ記述

Xn - 有害
R36/37/38 目、呼吸器系および皮膚に刺激あり。
R42 吸入により感作を起こすことがあります。
Eye Irrit. 2 - 眼刺激性、カテゴリ2
Resp. Sens. 1 - 呼吸器感作性、カテゴリ1
Skin Irrit. 2 - 皮膚刺激性、カテゴリ2
STOT SE 3 - 特定標的臓器毒性 (単回暴露)、カテゴリ3

16 その他の情報 (続き)

略語及び頭字語

H315 - 皮膚刺激。
H319 - 強い眼刺激。
H334 - 吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ。
H335 - 呼吸器への刺激のおそれ。
ACGIH - American Conference of Governmental Industrial Hygienists (ACGIH - 米国産業衛生専門家会議)
ADRおよびRID - European Agreement Concerning The International Carriage Of Dangerous Goods By Road and Rail (陸路および鉄道による危険物の国際輸送に関する欧州協定)
CERCLA - The Comprehensive Environmental Response, Compensation, and Liability Act (CERCLA - 包括的環境対策・補償・責任法)
CLP - Classification, Labeling and Packaging (CLP - 分類、表示および包装)
DFGMAK - Republic Germany's maximum exposure limit (DFGMAK - (独)ばく露許容濃度)
GHS - Globally Harmonized System (GHS - 世界調和システム)
HCS - Hazard Communication Standard (HCS - 危険有害性周知基準)
IARC - International Agency for Research on Cancer (国際がん研究機関)
IATA DGR - 国際航空運送協会危険物規則書
ICAO - 国際民間航空機関
IMDG - 国際海上危険物
IOELVs - European Unions' Indicative Occupational Exposure Limit Values (IOELV - 欧州連合職業暴露限度指針値)
NIOSH - National Institute for Occupational Safety and Health (NIOSH - (米)国立労働安全衛生研究所)
NTP - 国家毒性プログラム
OSHA - Occupational Safety and Health Administration (OSHA - (米)労働安全衛生局)
PBT - Persistent bioaccumulative and toxic substances (PBT - 難分解性・生物蓄積性・毒性物質)
SARA - Superfund Amendments and Reauthorization Act (SARA - (米)スーパーファンド修正・再授權法)
TDG - Canadian Transportation Of Dangerous Goods Regulations (カナダ危険物輸送規則)
UN GHS - United Nations Globally Harmonized System (UN GHS - 化学品の分類および表示に関する世界調和システム)
US DOT - アメリカ合衆国運輸省
WHMIS - Workplace Hazardous Material Information System (WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム)
vPvB - Very persistent and very bioaccumulative substances (vPvB - 残留性および蓄積性が極めて高い物質)

ここに記載されているBeckman Coulter、ロゴマーク、ならびにベックマン・コールターの製品およびサービスマークは、ベックマン・コールターの米国およびその他の国における商標と登録商標です。

詳細はお近くの Beckman Coulter, Inc. 代理店までお問い合わせください。

は BECKMAN COULTER, INC. はここに記載した内容は有効かつ正確であると考えていますが、BECKMAN COULTER, INC. 有効性、正確性、あるいは適用性を保証もしくは明言するものではありません。BECKMAN COULTER, INC. 当社はこの内容または製品の使用に関し、法的責任もしくは他のいかなる責任も負うものではありません。危険有害物質の廃棄は地域ごとの法律、規則により規制されることがあります。



安全性データシート

文書番号: A41499 Rev. AE
改訂 (年/月/日) 2016/09/29

1. 化学品及び会社情報

製品特定名

製品名

Agencourt Genfind V2 血中 PK バッファ

製品番号

P/Nの構成 A41497, A41499

物質 / 混合物の関連用途及び推奨されない用途

製品の使用

研究用。詳細は添付文書を参照してください。

本安全性データシートの供給者の詳細情報

製造業者

Beckman Coulter, Inc.
250 S. Kraemer Blvd
Brea, CA 92821, U.S.A.
Tel: 800-854-3633

EC REP 住所

Beckman Coulter Eurocenter S.A.
22, rue Juste-Oliver, Case Postale 1044,
CH-1260 Nyon 1, Switzerland.
Telephone +41 (0)22 365 36 11
Monday through Friday, 9:00 am to
7:00pm)

e-mail アドレス

SDSNT@beckman.com

緊急時電話番号

電話番号(24時間対応)

Chemtrec 緊急連絡電話番号 米国 800-424-9300、国際電話 (001) 703-527-3887

販売業者および緊急時の連絡先

最寄りの営業所および緊急電話番号に関しては別紙一覧表 (書類番号 : 472050) を参照してください。

2 危険有害性の要約

物質 / 混合物の分類

製品の説明

混合物

無色; 透明; 液体; 無臭

EC 1272/2008 (CLP/GHS)による分類

EC 1272/2008 (CLP/GHS)で危険物に分類されていない

EC指令1999/45/EC及び67/548/EECによる分類

EC 指令 (1999/45/ECおよび67/548 EEC)で危険物質に分類されていない

US-OSHA (HCS 29 CFR 1910.1200)およびUN GHSによる分類

US-OSHA HCS 2012およびUN GHSで危険物に分類されていない

ラベル要素

EC 1272/2008 (CLP/GHS)、US-OSHA、およびUN GHSに準拠

EC 1272/2008 (CLP/GHS)、US-OSHAおよびGHSで危険物に分類されていない

2 危険有害性の要約 (続き)

他の危険有害性

PBTおよびvPvB評価の結果
PBT: 該当しない。
vPvB: 該当しない。

健康に関する詳細はセクション11の毒物に関する情報を参照してください。

3 組成及び成分情報

混合物

危険有害成分:

なし

4 応急措置

応急措置についての記述

吸入した場合

もし本品を吸入した場合、吸入者を空気の新鮮な場所へ移動させてください。呼吸をしていない場合、訓練を受けた人物による人工呼吸を行い、すぐに医師の手当を受けてください。

目に入った場合

もし本品が目に入った場合、念のため緩やかな水道水で目を洗ってください。

皮膚についた場合

皮膚に付いた場合は、念のため水で洗い流してください。

飲み込んだ場合

もし本品を飲み込んだ場合、水で口をすすいでください。刺激や不快感が生じた場合は、すぐに医師の手当を受けてください。

急性及び遅延性の最も重要な症状/影響

健康に関する詳細はセクション11の毒物に関する情報を参照してください。

応急処置及び必要とされる特別な処置の指示

特別な治療や処置は必要ありません。

5 火災時の措置

可燃性特質

非可燃性溶液。

消火剤

火災では二酸化炭素 (CO₂)、粉末消火剤、噴霧水または泡消火剤を用いる。大規模火災では周辺火災に適した消化剤を用いる。

物質 / 混合物から生じる特別な危険有害性

特別な火災及び爆発危険性

特別な危険有害性は確認されていません。

有害燃焼生成物

本製品からは重大な危険性のある燃焼生成物は発生しません。

5 火災時の措置 (続き)

消火作業員への注意

保護具	すべての薬品火災では消防隊員に自給式の呼吸装置を推奨します。
その他の情報	追加の関連情報なし。

6 漏出時の措置

人体に対する予防措置、保護具及び緊急時措置

人体に対する予防措置	保護手袋/保護衣/保護眼鏡/顔面保護具を着用すること。 防護のための一般安全ガイドラインを遵守してください。目および皮膚に触れないようにしてください。
環境に対する予防措置	漏出液を容器に回収し、他への流出を防いでください。 未希釈製品が下水、地表水又は地下水に入らないようにしてください。 地域の規制にしたがって内容物/容器を廃棄すること。
封じ込め及び浄化方法と機材 流出および漏出時の措置	予防措置として、こぼした物質は漂白剤を水で1:10希釈した溶液で処理してください。処理した液を吸引し適切な廃棄用容器に入れてください。作業中は飛沫が生じないように注意してください。適用を受ける廃棄物処理基準に従ってください。
他のセクションへの参照	セクション8 および13を参照してください。

7 取扱い及び保管上の注意

安全な取扱いのための予防措置 安全基準に従ってください。目や皮膚に触れないようにしてください。

混触危険性等、安全な保管条件

製品ラベルに記載のとおり、15~30°Cの範囲で保管すること。
製品の品質を維持するため製品ラベルの記載内容に従い保存してください。
強酸、強塩基、強酸化剤および不適合物質から離して保管してください(セクション10)。

特定の最終用途 追加の関連情報なし。

8 ばく露防止及び保護措置

管理指標	
許容濃度	
米国 OSHA	未設定
ACGIH	未設定
DFG MAK	未設定
アイルランド	未設定

8 ばく露防止及び保護措置 (続き)

IOELVs	未設定
NIOSH	未設定
Japan	未設定
ばく露防止 設備対策	特に技術的な制御は必要ではありません。良好な通常の換気を使用してください。
眼の保護具	目に入らないように保護眼鏡を着用してください。 U.S. OSHA 29 CFR 1910.133、欧州規格 EN166 又は適切な政府規格を参照。
皮膚の保護具	必要に応じて、保護衣および不浸透性の手袋を着用してください。
呼吸用保護具	通常の使用条件では、本品の使用には保護マスク等の制約はありませんが、換気が適切に行われず過剰量の暴露の恐れがある場合は、資格を有する専門家に保護マスク等の使用を相談してください。

9 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

外観等	液体	比重 (水 = 1.0)	未定・不明
色	無色	溶解性	
透明度	透明	水	混和
臭い	無臭	有機溶媒	未定・不明
pH	7.1 - 8.5	n-オクタノール / 水分配 係数	未定・不明
氷点 / 氷結点 / 凝固点	未定・不明	自然発火温度	適用外
沸点	未定・不明	分解温度	未定・不明
引火点	適用外	揮発性	適用外
蒸発率	未定・不明	蒸気圧	未定・不明
燃焼性 (固体、気体)	適用外	粘度	未定・不明
燃焼又は爆発範囲の上 限・下限	適用外	爆発性	適用外
蒸気密度	未定・不明	酸化性	適用外
臭いの閾値	適用外		
その他の情報	追加の関連情報なし。		

10 安定性及び反応性

反応性	追加の関連情報なし。
化学的安定性	本品は推奨する保管条件で安定です。
危険有害反応性の可能性	追加の関連情報なし。
避けるべき条件	不適合な物質との接触を避けてください。 熱や直射日光に触れないようにしてください。
混触危険物質	強酸、強塩基、強酸化剤
危険有害性のある分解生成物	重大な危険を引き起こす分解生成物は本品 (水溶液) には含まれていません。

11 有害性情報

毒性影響に関する情報	
危険有害成分の毒性データ	適用外
被曝の主要経路	目との接触、摂取、吸入、および皮膚接触。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	入手可能なデータによる分類対象外です。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	入手可能なデータによる分類対象外です。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	入手可能なデータによる分類対象外です。
発がん性	本品はACGIH (米国産業衛生専門家会議)、IARC (国際がん研究機関)、NTP (米国国家毒性プログラム)、OSHAまたは1272/2008/EC規則により発がん物質として記載されている成分の報告可能濃度である ($\geq 0.1\%$) を含有していません。
生殖細胞変異原性	入手可能なデータによる分類対象外です。
生殖毒性	入手可能なデータによる分類対象外です。
特定標的臓器毒性、単回ばく露	入手可能なデータによる分類対象外です。
特定標的臓器毒性、反復ばく露	入手可能なデータによる分類対象外です。
吸引性呼吸器有害性	入手可能なデータによる分類対象外です。
その他の情報	追加の関連情報なし。

12 環境影響情報

生態毒性	
淡水生物種	情報なし
マイクロトックス	情報なし
ミジンコ	情報なし
淡水藻類	情報なし
残留性と分解性	本品では未定。
生物蓄積性	本品では未定。
土壤中の移動度	本品では未定。
PBT及びvPvB評価の結果	
	本品では未定。PBT (難分解性、生体蓄積性、毒性を有する物質) : 該当しない、vPvB (極めて難分解性、高い生物蓄積性を有する物質) : 該当しない。
他の有害影響	追加の関連情報なし。

13 廃棄上の注意

廃棄物処理方法	
製品廃棄物の処分	化学残留物や残った化学薬品は、常に特別廃棄物として処理してください。必ず、現地の公害防止法および該当する法令に従って処分してください。現地の該当局、または認可を得た廃棄物処理会社に問い合わせ、確実に法令を順守してください。
包装の廃棄	使用済み/未使用の廃棄物および汚染された包装は国や地方自治体の規定に従い廃棄してください。該当する条件が不明確な場合は当局に問い合わせてください。
その他の情報	欧州廃棄物カタログ18 01 07 : 18 01 06に記載されている化学品以外の化学品。国、州および地方の関係法規に従って廃棄する。

14 輸送上の注意

本品はICAO、IATA DGR、IMDG、US DOT、欧州ADRおよびRID、またはカナダTDGでの輸送上の規制はありません。

14.1 UN/ID番号 : 輸送上規制されない

14.2 出荷名 : 輸送上規制されない

14.3 危険物クラス : 輸送上規制されない

14.4 容器等級 : 輸送上規制されない

14.5 環境有害性 : 輸送上規制されない

14.6 使用者に対する特別な注意事項 : なし

14.7 MARPOL条約附属書IIおよびIBCコードに基づくバルク輸送 : 該当しない

15 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則 / 法規 米国連邦および州の規則

SARA 313	成分の記載はありません。
CERCLA RG's, 40 CFR 302.4	成分の記載はありません。
California Proposition 65	成分の記載はありません。
Massachusetts MSL	グリセロール 記載されています。
New Jersey Dept. of Health RTK List	グリセロール 記載されています。
Pennsylvania RTK	グリセロール 記載されています。

EU規則

このSDSは、EC規則 1907/2006(REACH)及び改正に準拠します。

水質有害性等級 (ドイツ) WGK 1、水質に対してわずかに有害

REACH 1907/2006 EC - 附属書XIV - 認可対象物質リスト。

成分の記載はありません。

EC 指令 (1999/45/ECおよび 67/548 EEC) による分類

EC 指令 (1999/45/ECおよび67/548 EEC)で危険物質に分類されていない

カナダ

WHMIS 分類	D2B - 有毒性および感染性物質 : 分類2 - その他の毒性効果 : 有毒 (非生殖細胞変異促進性)
PIN	適用外
表示対象成分	なし
未知毒物の特性を有する成分	なし
化学物質安全性評価	化学物質安全性評価が行われませんでした。

セクション15に記載されているいくつかの有害成分は、OSHA および WHMIS の 1.0% w/w (発がん物質としては0.1%) 以下、または EU のセクション3で報告義務のある成分の特定濃度以下です。

16 その他の情報

ベックマン・コールター安全基準	可燃性: 0 健康: 1 反応性: 0 物理的接触: 1	コード 0=なし 1=軽度 2=中等度 3=重度
改訂版変更	Section 1の製造業者の所在地を修正 セクション4, 8, 11を更新。 セクション16を更新。	
略語及び頭字語	ACGIH - American Conference of Governmental Industrial Hygienists (ACGIH - 米国産業衛生専門家会議) ADRおよびRID - European Agreement Concerning The International Carriage Of Dangerous Goods By Road and Rail (陸路および鉄道による危険物の国際輸送に関する欧州協定) CERCLA - The Comprehensive Environmental Response, Compensation, and Liability Act (CERCLA - 包括的環境対策・補償・責任法) CLP - Classification, Labeling and Packaging (CLP - 分類、表示および包装) DFGMAK - Republic Germany's maximum exposure limit (DFGMAK - (独)ばく露許容濃度) GHS - Globally Harmonized System (GHS - 世界調和システム) HCS - Hazard Communication Standard(HCS - 危険有害性周知基準) IARC - International Agency for Research on Cancer (国際がん研究機関) IATA DGR - 国際航空運送協会危険物規則書 ICAO - 国際民間航空機関 IMDG - 国際海上危険物 IOELVs - European Unions' Indicative Occupational Exposure Limit Values(IOELV - 欧州連合職業暴露限度指針値) NIOSH - National Institute for Occupational Safety and Health (NIOSH - (米)国立労働安全衛生研究所) NTP - 国家毒性プログラム OSHA - Occupational Safety and Health Administration(OSHA - (米)労働安全衛生局) PBT - Persistent bioaccumulative and toxic substances (PBT - 難分解性・生物蓄積性・毒性物質) SARA - Superfund Amendments and Reauthorization Act (SARA - (米)スーパーファンド修正・再授權法) TDG - Canadian Transportation Of Dangerous Goods Regulations (カナダ危険物輸送規則) UN GHS - United Nations Globally Harmonized System(UN GHS - 化学品の分類および表示に関する世界調和システム) US DOT - アメリカ合衆国運輸省 WHMIS - Workplace Hazardous Material Information System (WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム)	

16 その他の情報 (続き)

vPvB - Very persistent and very bioaccumulative substances (vPvB - 残留性および蓄積性が極めて高い物質)

ここに記載されているBeckman Coulter、ロゴマーク、ならびにベックマン・コールドターの製品およびサービスマークは、ベックマン・コールドターの米国およびその他の国における商標と登録商標です。

詳細はお近くの Beckman Coulter, Inc. 代理店までお問い合わせください。

は BECKMAN COULTER, INC. はここに記載した内容は有効かつ正確であると考えていますが、BECKMAN COULTER, INC. 有効性、正確性、あるいは通用性を保証もしくは明言するものではありません。BECKMAN COULTER, INC. 当社はこの内容または製品の使用に関し、法的責任もしくは他のいかなる責任も負うものではありません。危険有害物質の廃棄は地域ごとの法律、規則により規制されることがあります。



安全性データシート

文書番号: A41499 Rev. AE
改訂 (年/月/日) 2016/09/29

1. 化学品及び会社情報

製品特定名

製品名

Agencourt Genfind V2 リシス バッファ

製品番号

P/Nの構成 A41497, A41499

物質 / 混合物の関連用途及び推奨されない用途

製品の使用

研究用。詳細は添付文書を参照してください。

本安全性データシートの供給者の詳細情報

製造業者

Beckman Coulter, Inc.
250 S. Kraemer Blvd
Brea, CA 92821, U.S.A.
Tel: 800-854-3633

EC REP 住所

Beckman Coulter Eurocenter S.A.
22, rue Juste-Oliver, Case Postale 1044,
CH-1260 Nyon 1, Switzerland.
Telephone +41 (0)22 365 36 11
Monday through Friday, 9:00 am to
7:00pm)

e-mail アドレス

SDSNT@beckman.com

緊急時電話番号

電話番号(24時間対応)

Chemtrec 緊急連絡電話番号 米国 800-424-9300、国際電話 (001) 703-527-3887

販売業者および緊急時の連絡先

最寄りの営業所および緊急電話番号に関しては別紙一覧表 (書類番号 : 472050) を参照してください。

2 危険有害性の要約

物質 / 混合物の分類

製品の説明

混合物
無色; 透明; 液体; 無臭

EC 1272/2008 (CLP/GHS)による分類

眼刺激性 区分 2

EC指令1999/45/EC及び67/548/EECによる分類

EC 指令 (1999/45/ECおよび67/548 EEC)で危険物質に分類されていない

US-OSHA (HCS 29 CFR 1910.1200)およびUN GHSによる分類

皮膚刺激性 区分 3
眼刺激性 区分 2

2 危険有害性の要約 (続き)

ラベル要素

EC 1272/2008 (CLP/GHS)、US-OSHA、およびUN GHSに準拠

危険有害成分

エチレンジアミン四酢酸二ナトリウム二水和物

ポリオキシエチレートオクチルフェノール

絵表示



注意喚起語

警告

危険有害性情報

H319 強い眼刺激。

H316 軽度の皮膚刺激。

危険有害性情報

P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/顔面保護具を着用すること。

P337+P313 眼の刺激が続く場合:医師の診察/手当てを受けること。

P332+P313 皮膚刺激が生じた場合:医師の診察/手当てを受けること。

P305+P351+P338 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗ってください。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。

製品ラベルには非常に重大な危険有害性情報が表示されます。

他の危険有害性

PBTおよびvPvB評価の結果

PBT: 該当しない。

vPvB: 該当しない。

本品は、排水管に一般に存在する鉛や銅に繰り返し触れると衝撃に敏感な化合物を蓄積することがあるアジ化物を、有害性基準を下回る濃度で含有しています。アジ化ナトリウムは重金属と化合して爆発性化合物を形成します。

健康に関する詳細はセクション11の毒物に関する情報を参照してください。

3 組成及び成分情報

混合物

危険有害成分:		純粋成分の災害分類			
化学物質名	重量による%	EU-67/548/EEC	EU 1272/2008 CLP/GHS	GHS	
エチレンジアミン四酢酸二ナトリウム二水和物 CAS # 6381-92-6 EINECS # 205-358-3 インデックス番号 情報なし	1 - 5	いいえ	Eye Irrit. 2 STOT SE 3 Skin Irrit. 2 H315; H319; H335	Eye Irrit. 2 STOT SE 3 Skin Irrit. 2 H315; H319; H335	

3 組成及び成分情報 (続き)

ポリオキシエチレートオクチル フェノール CAS # 9002-93-1 EINECS # 情報なし インデックス番号 情報なし	< 3	Xn;R22-41 N;R51/53	Acute Tox. Oral 4 Aquatic Longterm 2 Eye Dam. 1 H302; H318; H411	Acute Tox. Oral 4 Aquatic Longterm 2 Eye Dam. 1 H302; H318; H411	SVHC
アジ化ナトリウム CAS # 26628-22-8 EINECS # 247-852-1 インデックス番号 011-004-00-7	< 0.1	T+;R28-32 N;R50/53	Acute Tox. Oral 2 Aquatic Acute 1 Aquatic Longterm 1 H300; H400; H410	Acute Tox. Oral 2 Aquatic Acute 1 Aquatic Longterm 1 H300; H400; H410	2, 8

2 - EC職業暴露限界の設定されている物質
8 - カットオフ値よりも低い濃度で存在。
SVHC - Substance of very high concern (SVHC - 高懸念物質)

職業ばく露限界についてはセクション8参照
その他の規制情報についてはセクション15参照
危険有害性分類、危険有害性表示及びリスクフレーズ記述についてはセクション16参照

4 応急措置

応急措置についての記述

吸入した場合

もし本品を吸入した場合、吸入者を空気の新鮮な場所へ移動させてください。呼吸をしていない場合、訓練を受けた人物による人工呼吸を行い、すぐに医師の手当を受けてください。

目に入った場合

もし本品が目に入った場合、緩やかな水道水で15分以上まぶたを開けて目を洗ってください。痛みや刺激が生じた場合は、医師の診察/手当を受けてください。

皮膚についた場合

皮膚に付いた場合は、大量の水で洗い流してください。汚染された衣服および靴は脱いでください。痛みや刺激が生じた場合は、医師の診察/手当を受けてください。

飲み込んだ場合

もし本品を飲み込んだ場合、水で口をすすいでください。刺激や不快感が生じた場合は、すぐに医師の手当を受けてください。

急性及び遅延性の最も重要な症状/影響

健康に関する詳細はセクション11の毒物に関する情報を参照してください。
強い眼刺激。
軽度の皮膚刺激。

応急処置及び必要とされる特別な処置の指示

特別な治療や処置は必要ありません。

5 火災時の措置

可燃性特質

不燃性水溶液

消火剤

火災では二酸化炭素 (CO₂)、粉末消火剤、噴霧水または泡消火剤を用いる。大規模火災では周辺火災に適した消化剤を用いる。

5 火災時の措置 (続き)

物質 / 混合物から生じる特別な危険有害性

特別な火災及び爆発危険性

特別な危険有害性は確認されていません。

有害燃焼生成物

本製品からは重大な危険性のある燃焼生成物は発生しません (水溶液)。

消火作業員への注意

保護具

すべての薬品火災では消防隊員に自給式の呼吸装置を推奨します。

その他の情報

追加の関連情報なし。

6 漏出時の措置

人体に対する予防措置、保護具及び緊急時措置

人体に対する予防措置

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/顔面保護具を着用すること。
防護のための一般安全ガイドラインを遵守してください。目および皮膚に触れないようにしてください。

環境に対する予防措置

漏出液を容器に回収し、他への流出を防いでください。
未希釈製品が下水、地表水又は地下水に入らないようにしてください。
地域の規制にしたがって内容物/容器を廃棄すること。

封じ込め及び浄化方法と機材

流出および漏出時の措置

予防措置として、こぼした物質は漂白剤を水で1:10希釈した溶液で処理してください。処理した液を吸引し適切な廃棄用容器に入れてください。作業中は飛沫が生じないように注意してください。適用を受ける廃棄物処理基準に従ってください。

他のセクションへの参照

セクション8 および13を参照してください。

7 取扱い及び保管上の注意

安全な取扱いのための予防措置 安全基準に従ってください。目や皮膚に触れないようにしてください。

混触危険性等、安全な保管条件

製品ラベルに記載のとおり、15~30°Cの範囲で保管すること。
製品の品質を維持するため製品ラベルの記載内容に従い保存してください。
強酸、強塩基、強酸化剤および不適合物質から離して保管してください (セクション10)。

特定の最終用途

追加の関連情報なし。

8 ばく露防止及び保護措置

管理指標

許容濃度

米国 OSHA 未設定

ACGIH

アジ化ナトリウム 0.29 mg/m³ 天井値 (NaN₃として); 0.11 ppm 天井値 (アジ化水素酸として) (蒸気)
 CAS # 26628-22-8

DFG MAK

アジ化ナトリウム 0.4 mg/m³ ピーク (吸引性画分); 0.2 mg/m³ TWA MAK (吸引性画分)
 CAS # 26628-22-8

アイルランド

アジ化ナトリウム 0.1 mg/m³ TWA (NaN₃として); 0.3 mg/m³ STEL; 経皮吸収の可能性
 CAS # 26628-22-8

IOELVs

アジ化ナトリウム 重大な経皮吸収が起こる可能性がある。; 0.3 mg/m³ STEL; 0.1 mg/m³ TWA
 CAS # 26628-22-8

NIOSH

未設定

Japan

未設定

ばく露防止

設備対策

特に技術的な制御は必要ありません。良好な通常の換気を使用してください。

目の保護具

目に入らないように保護眼鏡を着用してください。
 U.S. OSHA 29 CFR 1910.133、欧州規格 EN166 又は適切な政府規格を参照。

皮膚の保護具

Nitrileまたはそれと同等の不浸透性の手袋および保護衣を着用してください。
 U.S. OSHA 29 CFR 1910.138、欧州規格 EN 374、EN 14605:2005+A1:2009、またはその他の適切な政府機関の規則を参照してください。

呼吸用保護具

通常の使用条件では、本品の使用には保護マスク等の制約はありませんが、換気が適切に行われず過剰量の暴露の恐れがある場合は、資格を有する専門家に保護マスク等の使用を相談してください。

9 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

外観等	液体	比重 (水 = 1.0)	未定・不明
色	無色	溶解性	
透明度	透明	水	混和
臭い	無臭	有機溶媒	未定・不明

9 物理的及び化学的性質 (続き)

pH	7.5 - 8.5 @20°C	n-オクタノール / 水分配 係数	未定・不明
氷点 / 氷結点 / 凝固点	未定・不明	自然発火温度	適用外
沸点	未定・不明	分解温度	未定・不明
引火点	適用外	揮発性	適用外
蒸発率	未定・不明	蒸気圧	未定・不明
燃焼性 (固体、気体)	適用外	粘度	未定・不明
燃焼又は爆発範囲の上 限・下限	適用外	爆発性	適用外
蒸気密度	未定・不明	酸化性	適用外
臭いの閾値	適用外		
その他の情報	追加の関連情報なし。		

10 安定性及び反応性

反応性	追加の関連情報なし。
化学的安定性	本品は推奨する保管条件で安定です。
危険有害反応性の可能性	アジ化ナトリウムは重金属と結合し爆発性化合物を生成します。低濃度のアジ化物でも排水管などの鉛や銅と繰り返し接触することにより爆発しやすい化合物を生成することがあります。
避けるべき条件	製品の性能を使用できるようにするために、強酸や強塩基、強酸化剤から遠ざけてください。 熱や直射日光に触れないようにしてください。
混触危険物質	金属および金属化合物
危険有害性のある分解生成物	重大な危険を引き起こす分解生成物は本品 (水溶液) には含まれていません。

11 有害性情報

毒性影響に関する情報

危険有害成分の毒性データ

ポリオキシエチレートオクチル
フェノール 経口 LD50 ラット 1800 mg/kg
CAS # 9002-93-1

アジ化ナトリウム 経口 LD50 ラット 27 mg/kg
CAS # 26628-22-8

被曝の主要経路 目との接触、摂取、吸入、および皮膚接触。

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 軽度の皮膚刺激。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 強い眼刺激。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 入手可能なデータによる分類対象外です。

発がん性 本品はACGIH (米国産業衛生専門家会議)、IARC (国際がん研究機関)、NTP (米国国家毒性プログラム)、OSHAまたは1272/2008/EC規則により発がん物質として記載されている成分の報告可能濃度である (≥ 0.1%) を含有していません。

生殖細胞変異原性 入手可能なデータによる分類対象外です。

生殖毒性 入手可能なデータによる分類対象外です。

特定標的臓器毒性、単回ばく露 入手可能なデータによる分類対象外です。

特定標的臓器毒性、反復ばく露 入手可能なデータによる分類対象外です。

吸引性呼吸器有害性 入手可能なデータによる分類対象外です。

その他の情報 追加の関連情報なし。

12 環境影響情報

生態毒性

淡水生物種

アジ化ナトリウム 96 h LC50 Oncorhynchus mykiss: 0.8 mg/L; 96 h LC50 Lepomis macrochirus:
CAS # 26628-22-8 0.7 mg/L; 96 h LC50 Pimephales promelas: 5.46 mg/L [流水式]

マイクロトックス 情報なし

ミジンコ 情報なし

淡水藻類 情報なし

残留性と分解性 本品では未定。

12 環境影響情報 (続き)

生物蓄積性	本品では未定。
土壌中の移動度	本品では未定。
PBT及びvPvB評価の結果	本品では未定。PBT (難分解性、生体蓄積性、毒性を有する物質) : 該当しない、vPvB (極めて難分解性、高い生物蓄積性を有する物質) : 該当しない。
他の有害影響	本品はカットオフ値以下の環境有害物質を含有しています。成分に関する情報についてはセクション3を参照してください。未希釈製品が下水、地表水または地下水に入らないようにしてください。

13 廃棄上の注意

廃棄物処理方法 製品廃棄物の処分	化学残留物や残った化学薬品は、常に特別廃棄物として処理してください。必ず、現地の公害防止法および該当する法令に従って処分してください。現地の該当局、または認可を得た廃棄物処理会社に問い合わせ、確実に法令を順守してください。 アジ化ナトリウムは保存剤として用いられますが、金属製排水管内で爆発性化合物を生成することがあります。(NIOSH Bulletin: Explosive Azide Hazard (8/16/76)) アジド化合物が蓄積する可能性を回避するため、未希釈の試薬を廃棄した後は排水管を水で洗い流します。アジ化ナトリウムは地方自治体の規定に従い適切に廃棄してください。
包装の廃棄	使用済み/未使用の廃棄物および汚染された包装は国や地方自治体の規定に従い廃棄してください。該当する条件が不明確な場合は当局に問い合わせてください。
その他の情報	欧州廃棄物カタログ18 01 07 : 18 01 06に記載されている化学品以外の化学品。国、州および地方の関係法規に従って廃棄する。

14 輸送上の注意

本品はICAO、IATA DGR、IMDG、US DOT、欧州ADRおよびRID、またはカナダTDGでの輸送上の規制はありません。

14.1 UN/ID番号 : 輸送上規制されない

14.2 出荷名 : 輸送上規制されない

14.3 危険物クラス : 輸送上規制されない

14.4 容器等級 : 輸送上規制されない

14.5 環境有害性 : 輸送上規制されない

14.6 使用者に対する特別な注意事項 : なし

14.7 MARPOL条約附属書IIおよびIBCコードに基づくバルク輸送 : 該当しない

15 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則 / 法規 米国連邦および州の規則

SARA 313

1,4-ジオキサン SARA Title III、第313条の報告要件の対象です。0.1% 僅少濃度
エチレン酸化物 SARA Title III、第313条の報告要件の対象です。0.1% 僅少濃度
アジ化ナトリウム SARA Title III、第313条の報告要件の対象です。1.0% 僅少濃度

鉛 is subject to reporting requirements of Section 313, Title III of SARA. 0.1 %
Supplier notification limit; 0.1 % de minimis concentration

CERCLA RG's, 40 CFR 302.4

1,4-ジオキサン 記載されています。
エチレン酸化物 記載されています。
アジ化ナトリウム 記載されています。
鉛 記載されています。

California Proposition 65

1,4-ジオキサン はカリフォルニア州によって発癌性物質として識別されています。カリフォルニア州は、州が発癌性物質または生殖毒性物質として識別した化学物質に接触する可能性のある人に警告を与える規制を採択しました。
警告：本製品にはカリフォルニア州が発癌性物質としている化学物質が含まれています。

エチレン酸化物 はカリフォルニア州によって発癌性物質および生殖毒性物質として識別されています。カリフォルニア州は、州が発癌性物質または生殖毒性物質として識別した化学物質に接触する可能性のある人に警告を与える規制を採択しました。

警告：本製品にはカリフォルニア州が発癌性物質および生殖毒性物質としている化学物質が含まれています。

鉛 はカリフォルニア州によって発癌性物質および生殖毒性物質として識別されています。カリフォルニア州は、州が発癌性物質または生殖毒性物質として識別した化学物質に接触する可能性のある人に警告を与える規制を採択しました。

警告：本製品にはカリフォルニア州が発癌性物質および生殖毒性物質としている化学物質が含まれています。

Massachusetts MSL

マグネシウム 記載されています。
1,4-ジオキサン 記載されています。
エチレン酸化物 記載されています。
アジ化ナトリウム 記載されています。
カルシウム 記載されています。
鉛 記載されています。

New Jersey Dept. of Health RTK List

マグネシウム 記載されています。
1,4-ジオキサン 記載されています。
エチレン酸化物 記載されています。
アジ化ナトリウム 記載されています。
カルシウム 記載されています。
鉛 記載されています。

15 適用法令 (続き)

Pennsylvania RTK

マグネシウム 記載されています。
 1,4-ジオキサン 記載されています。
 エチレン酸化物 記載されています。
 アジ化ナトリウム 記載されています。
 カルシウム 記載されています。
 鉛 記載されています。

EU規則

このSDSは、EC規則 1907/2006(REACH)及び改正に準拠します。
 水質有害性等級 (ドイツ) WGK 1、水質に対してわずかに有害
 REACH 1907/2006 EC - 附属書XIV - 認可対象物質リスト。
 成分の記載はありません。

EC 指令 (1999/45/ECおよび 67/548 EEC) による分類

EC 指令 (1999/45/ECおよび67/548 EEC)で危険物質に分類されていない

カナダ

WHMIS 分類

D2B - 有毒性および感染性物質 : 分類2 - その他の毒性効果 : 有毒 (皮膚の炎症)
 D2B - 有毒性および感染性物質 : 分類2 - その他の毒性効果 : 有毒 (目の炎症)

PIN

適用外

表示対象成分

ポリオキシエチレートオクチルフェノール
 1,4-ジオキサン
 エチレン酸化物
 アジ化ナトリウム
 鉛
 ラウリル硫酸ナトリウム

未知毒物の特性を有する成分

なし

化学物質安全性評価

化学物質安全性評価が行われませんでした。

セクション15に記載されているいくつかの有害成分は、OSHA および WHMIS の 1.0% w/w (発がん物質としては0.1%) 以下、または EU のセクション3で報告義務のある成分の特定濃度以下です。

16 その他の情報

ベックマン・コールター安全基準	可燃性: 0 健康: 2 反応性: 0 物理的接触: 2	コード 0=なし 1=軽度 2=中等度 3=重度
-----------------	---------------------------------------	--------------------------------------

改訂版変更

Section 1の製造業者の所在地 を修正
 セクション4, 8, 11を更新。

16 その他の情報 (続き)

セクション16を更新。

セクション 3からの危険有害性等級及びリスクフレーズ記述

N - 環境に有害

T+ - 非常に有毒

Xn - 有害

R22 飲み込むと有害。

R41 目に重大な損傷を与える危険性あり。

R28 飲み込むと猛毒。

R32 酸に触れると非常に有毒なガスを発生。

R50/53 水生生物に非常に毒性であり、水系環境において長期的に悪影響を起す場合があります。

R51/53 水生生物に有毒、水域環境における長期の副作用を引き起こすことがあります。

Aquatic Acute 1 - 水生環境有害性 (急性)、カテゴリ1

Acute Tox. Oral 2 - 急性経口毒性、カテゴリ2

Acute Tox. Oral 4 - 急性経口毒性、カテゴリ4

Eye Dam. 1 - 目の損傷、カテゴリ1

Eye Irrit. 2 - 眼刺激性、カテゴリ2

Aquatic Longterm 1 - 水生環境有害性 (長期間)、カテゴリ1

Aquatic Longterm 2 - 水生環境有害性 (長期間)、カテゴリ2

Skin Irrit. 2 - 皮膚刺激性、カテゴリ2

STOT SE 3 - 特定標的臓器毒性 (単回暴露)、カテゴリ3

H300 - 飲み込むと生命に危険。

H302 - 飲み込むと有害。

H315 - 皮膚刺激。

H318 - 重篤な眼の損傷。

H319 - 強い眼刺激。

H335 - 呼吸器への刺激のおそれ。

H400 - 水生生物に非常に強い毒性。

H410 - 長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性。

H411 - 長期継続的影響により水生生物に毒性。

略語及び頭字語

ACGIH - American Conference of Governmental Industrial Hygienists (ACGIH - 米国産業衛生専門家会議)

ADRおよびRID - European Agreement Concerning The International Carriage Of Dangerous Goods By Road and Rail (陸路および鉄道による危険物の国際輸送に関する欧州協定)

CERCLA - The Comprehensive Environmental Response, Compensation, and Liability Act (CERCLA - 包括的環境対策・補償・責任法)

CLP - Classification, Labeling and Packaging (CLP - 分類、表示および包装)

DFGMAK - Republic Germany's maximum exposure limit (DFGMAK - (独)ばく露許容濃度)

GHS - Globally Harmonized System (GHS - 世界調和システム)

HCS - Hazard Communication Standard (HCS - 危険有害性周知基準)

IARC - International Agency for Research on Cancer (国際がん研究機関)

16 その他の情報 (続き)

IATA DGR - 国際航空運送協会危険物規則書
ICAO - 国際民間航空機関
IMDG - 国際海上危険物
IOELVs - European Unions' Indicative Occupational Exposure Limit Values (IOELV - 欧州連合職業暴露限度指針値)
NIOSH - National Institute for Occupational Safety and Health (NIOSH - (米)国立労働安全衛生研究所)
NTP - 国家毒性プログラム
OSHA - Occupational Safety and Health Administration (OSHA - (米)労働安全衛生局)
PBT - Persistent bioaccumulative and toxic substances (PBT - 難分解性・生物蓄積性・毒性物質)
SARA - Superfund Amendments and Reauthorization Act (SARA - (米)スーパーファンド修正・再授權法)
TDG - Canadian Transportation Of Dangerous Goods Regulations (カナダ危険物輸送規則)
UN GHS - United Nations Globally Harmonized System (UN GHS - 化学品の分類および表示に関する世界調和システム)
US DOT - アメリカ合衆国運輸省
WHMIS - Workplace Hazardous Material Information System (WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム)
vPvB - Very persistent and very bioaccumulative substances (vPvB - 残留性および蓄積性が極めて高い物質)
LC50 - Lethal Concentration, 50% (LC50 - 50%致死濃度)
LD50 - Lethal Dose, 50% (LD50 - 50%致死量)

ここに記載されているBeckman Coulter、ロゴマーク、ならびにベックマン・コールターの製品およびサービスマークは、ベックマン・コールターの米国およびその他の国における商標と登録商標です。

詳細はお近くの Beckman Coulter, Inc. 代理店までお問い合わせください。

は BECKMAN COULTER, INC. はここに記載した内容は有効かつ正確であると考えていますが、BECKMAN COULTER, INC. 有効性、正確性、あるいは通用性を保証もしくは明言するものではありません。BECKMAN COULTER, INC. 当社はこの内容または製品の使用に関し、法的責任もしくは他のいかなる責任も負うものではありません。危険有害物質の廃棄は地域ごとの法律、規則により規制されることがあります。



安全性データシート

文書番号: A41499 Rev. AE
改訂 (年/月/日) 2016/09/29

1. 化学品及び会社情報

製品特定名

製品名

Agencourt Genfind V2 バインディング バッファ

製品番号

P/Nの構成 A41497, A41499

物質 / 混合物の関連用途及び推奨されない用途

製品の使用

研究用。詳細は添付文書を参照してください。

本安全性データシートの供給者の詳細情報

製造業者

Beckman Coulter, Inc.
250 S. Kraemer Blvd
Brea, CA 92821, U.S.A.
Tel: 800-854-3633

EC REP 住所

Beckman Coulter Eurocenter S.A.
22, rue Juste-Oliver, Case Postale 1044,
CH-1260 Nyon 1, Switzerland.
Telephone +41 (0)22 365 36 11
Monday through Friday, 9:00 am to
7:00pm)

e-mail アドレス

SDSNT@beckman.com

緊急時電話番号

電話番号(24時間対応)

Chemtrec 緊急連絡電話番号 米国 800-424-9300、国際電話 (001) 703-527-3887

販売業者および緊急時の連絡先

最寄りの営業所および緊急電話番号に関しては別紙一覧表 (書類番号 : 472050) を参照してください。

2 危険有害性の要約

物質 / 混合物の分類

製品の説明

混合物

茶色; 茶色の沈殿物含有の透明; 液体; かすかなヨウ素のにおい

EC 1272/2008 (CLP/GHS)による分類

皮膚刺激性 区分 2

眼刺激性 区分 2

特定標的臓器毒性 単回ばく露 区分 3

水生環境急性有害性、区分 1

EC指令1999/45/EC及び67/548/EECによる分類

Xn;R36/37/38-63

2 危険有害性の要約 (続き)

US-OSHA (HCS 29 CFR 1910.1200)およびUN GHSによる分類

急性毒性 (経口)、区分 5
皮膚刺激性 区分 2
眼刺激性 区分 2
特定標的臓器毒性 単回ばく露 区分 3
水生環境急性有害性、区分 1

ラベル要素

EC 1272/2008 (CLP/GHS)、US-OSHA、およびUN GHSに準拠

危険有害成分

ヨウ化ナトリウム

絵表示



注意喚起語

警告

危険有害性情報

H303 飲み込むと害を及ぼすこともあります。
H315 皮膚刺激。
H400 水生生物に非常に強い毒性。
H335 呼吸器への刺激のおそれ。
H319 強い眼刺激。

危険有害性情報

P261 蒸気の吸入を避けること。
P501 地域/国の規制にしたがって内容物/容器を廃棄すること。
P273 環境への放出を避けること。
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/顔面保護具を着用すること。
P302+P352 皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。
P304+P340 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P305+P351+P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗ってください。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。
P312 気分が悪い時は医師に連絡すること。
P332+P313 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。
P337+P313 眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。
P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、使用前に洗濯をしてください。
P391 漏出物を回収すること。
P403+P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
P405 施錠して保管すること。
P271 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

2 危険有害性の要約 (続き)

他の危険有害性

製品ラベルには非常に重大な危険有害性情報が表示されます。製品の40%に未知の経口毒性を有する成分を含有します。製品の40%に水生環境に対して未知の有害成分を含有します。

PBTおよびvPvB評価の結果

PBT：該当しない。

vPvB：該当しない。

本品は、排水管に一般に存在する鉛や銅に繰り返し触れると衝撃に敏感な化合物を蓄積することがあるアジ化物を、有害性基準を下回る濃度で含有しています。アジ化ナトリウムは重金属と化合して爆発性化合物を形成します。

健康に関する詳細はセクション11の毒物に関する情報を参照してください。

3 組成及び成分情報

混合物		純粋成分の災害分類			
危険有害成分:		EU-67/548/EEC	EU 1272/2008 CLP/GHS	GHS	
化学物質名	重量による%				
ヨウ化ナトリウム CAS # 7681-82-5 EINECS # 231-679-3 インデックス番号 情報なし	50 - 60	Xi;R36/37/38-63 生殖毒性区分3	Aquatic Acute 1 Eye Irrit. 2A STOT SE 3 Skin Irrit. 2 H315; H319; H335; H400	Acute Tox. Oral 5 Aquatic Acute 1 Eye Irrit. 2A STOT SE 3 Skin Irrit. 2 H303; H315; H319; H335; H400	
アジ化ナトリウム CAS # 26628-22-8 EINECS # 247-852-1 インデックス番号 011-004-00-7	< 0.1	T+;R28-32 N;R50/53	Acute Tox. Oral 2 Aquatic Acute 1 Aquatic Longterm 1 H300; H400; H410	Acute Tox. Oral 2 Aquatic Acute 1 Aquatic Longterm 1 H300; H400; H410	2, 8

2 - EC職業暴露限界の設定されている物質

8 - カットオフ値よりも低い濃度で存在。

職業ばく露限界についてはセクション8参照

その他の規制情報についてはセクション15参照

危険有害性分類、危険有害性表示及びリスクフレーズ記述についてはセクション16参照

4 応急措置

応急措置についての記述

吸入した場合

もし本品を吸入した場合、吸入者を空気の新鮮な場所へ移動させてください。呼吸をしていない場合、訓練を受けた人物による人工呼吸を行い、すぐに医師の手当を受けてください。

目に入った場合

もし本品が目に入った場合、緩やかな水道水で15分以上まぶたを開けて目を洗ってください。痛みや刺激が生じた場合は、医師の診察/手当を受けてください。

4 応急措置 (続き)

皮膚についた場合	皮膚に付いた場合は、大量の水で洗い流してください。汚染された衣服および靴は脱いでください。痛みや刺激が生じた場合は、医師の診察/手当を受けてください。
飲み込んだ場合	もし本品を飲み込んだ場合、水で口をすすいでください。嘔吐を誘発したり、口から何かを与えたりしないでください。すぐに医師の手当を受けてください。
急性及び遅延性の最も重要な症状/影響	健康に関する詳細はセクション11の毒物に関する情報を参照してください。皮膚、目、粘膜、および上気道に刺激を起こすことがあります。飲み込むと有害または致命的の恐れあり。
応急処置及び必要とされる特別な処置の指示	特別な治療や処置は必要ありません。

5 火災時の措置

可燃性特質	非可燃性溶液。
消火剤	火災では二酸化炭素 (CO ₂)、粉末消火剤、噴霧水または泡消火剤を用いる。大規模火災では周辺火災に適した消化剤を用いる。
物質 / 混合物から生じる特別な危険有害性 特別な火災及び爆発危険性	特別な危険有害性は確認されていません。
有害燃焼生成物	本製品からは重大な危険性のある燃焼生成物は発生しません。
消火作業員への注意	
保護具	すべての薬品火災では消防隊員に自給式の呼吸装置を推奨します。
その他の情報	追加の関連情報なし。

6 漏出時の措置

人体に対する予防措置、保護具及び緊急時措置	
人体に対する予防措置	保護手袋/保護衣/保護眼鏡/顔面保護具を着用すること。防護のための一般安全ガイドラインを遵守してください。目および皮膚に触れないようにしてください。
環境に対する予防措置	漏出液を容器に回収し、他への流出を防いでください。未希釈製品が下水、地表水又は地下水に入らないようにしてください。地域の規制にしたがって内容物/容器を廃棄すること。

6 漏出時の措置 (続き)

封じ込め及び浄化方法と機材

流出および漏出時の措置

予防措置として、こぼした物質は漂白剤を水で1:10希釈した溶液で処理してください。処理した液を吸引し適切な廃棄用容器に入れてください。作業中は飛沫が生じないように注意してください。適用を受ける廃棄物処理基準に従ってください。

他のセクションへの参照

セクション8 および13を参照してください。

7 取扱い及び保管上の注意

安全な取扱いのための予防措置 安全基準に従ってください。目や皮膚に触れないようにしてください。

混触危険性等、安全な保管条件

製品ラベルに記載のとおり、2~8°Cの範囲で保管すること。
 製品の品質を維持するため製品ラベルの記載内容に従い保存してください。
 強酸、強塩基、強酸化剤および不適合物質から離して保管してください(セクション10)。

特定の最終用途

追加の関連情報なし。

8 ばく露防止及び保護措置

管理指標

許容濃度

米国 OSHA

未設定

ACGIH

アジ化ナトリウム
 CAS # 26628-22-8

0.29 mg/m³ 天井値 (NaN₃として); 0.11 ppm 天井値 (アジ化水素酸として) (蒸気)

DFG MAK

アジ化ナトリウム
 CAS # 26628-22-8

0.4 mg/m³ ピーク (吸引性画分); 0.2 mg/m³ TWA MAK (吸引性画分)

アイルランド

アジ化ナトリウム
 CAS # 26628-22-8

0.1 mg/m³ TWA (NaN₃として); 0.3 mg/m³ STEL; 経皮吸収の可能性

IOELVs

アジ化ナトリウム
 CAS # 26628-22-8

重大な経皮吸収が起こる可能性がある。; 0.3 mg/m³ STEL; 0.1 mg/m³ TWA

NIOSH

未設定

Japan

未設定

ばく露防止

設備対策

特に技術的な制御は必要ではありません。良好な通常の換気を使用してください。

8 ばく露防止及び保護措置 (続き)

眼の保護具	目に入らないように保護眼鏡を着用してください。 U.S. OSHA 29 CFR 1910.133、欧州規格 EN166 又は適切な政府規格を参照。
皮膚の保護具	Nitrile またはそれと同等の不浸透性の手袋および保護衣を着用してください。 U.S. OSHA 29 CFR 1910.138、欧州規格 EN 374、EN 14605:2005+A1:2009、またはその他の適切な政府機関の規則を参照してください。
呼吸用保護具	通常の使用条件では、本品の使用には保護マスク等の制約はありませんが、換気が適切に行われず過剰量の暴露の恐れがある場合は、資格を有する専門家に保護マスク等の使用を相談してください。

9 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

外観等	液体	比重 (水 = 1.0)	未定・不明
色	茶色	溶解性	
透明度	茶色の沈殿物含有の透明	水	混和
臭い	かすかなヨウ素のにおい	有機溶媒	未定・不明
pH	6.0 - 8.0 @20°C	n-オクタノール / 水分配係数	未定・不明
氷点 / 氷結点 / 凝固点	未定・不明	自然発火温度	適用外
沸点	未定・不明	分解温度	未定・不明
引火点	適用外	揮発性	適用外
蒸発率	未定・不明	蒸気圧	未定・不明
燃焼性 (固体、気体)	適用外	粘度	未定・不明
燃焼又は爆発範囲の上限・下限	適用外	爆発性	適用外
蒸気密度	未定・不明	酸化性	適用外
臭いの閾値	適用外		
その他の情報	追加の関連情報なし。		

10 安定性及び反応性

反応性	追加の関連情報なし。
化学的安定性	本品は推奨する保管条件で安定です。

10 安定性及び反応性 (続き)

危険有害反応性の可能性

アジ化ナトリウムは重金属と結合し爆発性化合物を生成します。低濃度のアジ化物でも排水管などの鉛や銅と繰り返し接触することにより爆発しやすい化合物を生成することがあります。

避けるべき条件

製品の性能を維持するために、強酸や強塩基、強酸化剤から遠ざけてください。熱や直射日光に触れないようにしてください。

混触危険物質

金属および金属化合物

危険有害性のある分解生成物

重大な危険を引き起こす分解生成物は本品 (水溶液) には含まれていません。

11 有害性情報

毒性影響に関する情報

危険有害成分の毒性データ

ヨウ化ナトリウム
CAS # 7681-82-5

経口 LD50 ラット 4340 mg/kg

アジ化ナトリウム
CAS # 26628-22-8

経口 LD50 ラット 27 mg/kg

被曝の主要経路

目との接触、摂取、吸入、および皮膚接触。

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

皮膚刺激。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

強い眼刺激。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

入手可能なデータによる分類対象外です。

発がん性

本品はACGIH (米国産業衛生専門家会議)、IARC (国際がん研究機関)、NTP (米国国家毒性プログラム)、OSHAまたは1272/2008/EC規則により発がん物質として記載されている成分の報告可能濃度である (≥ 0.1%) を含有していません。

生殖細胞変異原性

入手可能なデータによる分類対象外です。

生殖毒性

入手可能なデータによる分類対象外です。

特定標的臓器毒性、単回ばく露

呼吸器への刺激のおそれ。

特定標的臓器毒性、反復ばく露

入手可能なデータによる分類対象外です。

吸引性呼吸器有害性

入手可能なデータによる分類対象外です。

その他の情報

追加の関連情報なし。

12 環境影響情報

生態毒性

淡水生物種

アジ化ナトリウム
CAS # 26628-22-896 h LC50 Oncorhynchus mykiss: 0.8 mg/L; 96 h LC50 Lepomis macrochirus:
0.7 mg/L; 96 h LC50 Pimephales promelas: 5.46 mg/L [流水式]

マイクロトックス

情報なし

ミジンコ

情報なし

淡水藻類

情報なし

残留性と分解性

本品では未定。

生物蓄積性

本品では未定。

土壤中の移動度

本品では未定。

PBT及びvPvB評価の結果

本品では未定。PBT (難分解性、生体蓄積性、毒性を有する物質) : 該当しない、vPvB (極めて難分解性、高い生物蓄積性を有する物質) : 該当しない。

他の有害影響

水生生物に有害。

13 廃棄上の注意

廃棄物処理方法

製品廃棄物の処分

化学残留物や残った化学薬品は、常に特別廃棄物として処理してください。必ず、現地の公害防止法および該当する法令に従って処分してください。現地の該当局、または認可を得た廃棄物処理会社に問い合わせ、確実に法令を順守してください。

アジ化ナトリウムは保存剤として用いられますが、金属製排水管内で爆発性化合物を生成することがあります。(NIOSH Bulletin: Explosive Azide Hazard (8/16/76))

アジド化合物が蓄積する可能性を回避するため、未希釈の試薬を廃棄した後は排水管を水で洗い流します。アジ化ナトリウムは地方自治体の規定に従い適切に廃棄してください。

包装の廃棄

使用済み/未使用の廃棄物および汚染された包装は国や地方自治体の規定に従い廃棄してください。該当する条件が不明確な場合は当局に問い合わせてください。

その他の情報

欧州廃棄物カタログ 18 01 06* : 危険物からなる化学品または危険物を含有する化学品。国、州および地方の関係法規に従って廃棄する。

14 輸送上の注意

本品はICAO、IATA DGR、IMDG、US DOT、欧州ADRおよびRID、またはカナダTDGでの輸送上の規制はありません。

14.1 UN/ID番号：輸送上規制されない

14.2 出荷名：輸送上規制されない

14.3 危険物クラス：輸送上規制されない

14.4 容器等級：輸送上規制されない

14.5 環境有害性：輸送上規制されない

14.6 使用者に対する特別な注意事項：なし

14.7 MARPOL条約附属書IIおよびIBCコードに基づくバルク輸送：該当しない

15 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則 / 法規

米国連邦および州の規則

SARA 313	アジ化ナトリウム SARA Title III、第313条の報告要件の対象です。1.0% 僅少濃度
CERCLA RG's, 40 CFR 302.4	アジ化ナトリウム 記載されています。
California Proposition 65	成分の記載はありません。
Massachusetts MSL	アジ化ナトリウム 記載されています。
New Jersey Dept. of Health RTK List	アジ化ナトリウム 記載されています。
Pennsylvania RTK	アジ化ナトリウム 記載されています。

EU規則

このSDSは、EC規則 1907/2006(REACH)及び改正に準拠します。

水質有害性等級 (ドイツ) WGK 1、水質に対してわずかに有害

REACH 1907/2006 EC - 附属書XIV - 認可対象物質リスト。

成分の記載はありません。

15 適用法令 (続き)

EC 指令 (1999/45/ECおよび 67/548 EEC) による分類

有害
Xn



危険および安全用語

R63 胎児へのリスクの可能性。
R36/37/38 目、呼吸器系および皮膚に刺激あり。
S26 目に触れた場合は直ちに大量の水で洗い、医師の手当てを受けてください。
S46 飲み込んだ場合、直ちに医師の診断を受け、本容器またはラベルを提示してください。
S37/39 手袋および目/顔を保護するものを着用してください。

カナダ

WHMIS 分類

D2A - 有毒性および感染性物質 : 分類2 - その他の毒性効果 : 非常に有毒 (奇形遺伝性および胎芽毒性)

PIN

適用外

表示対象成分

ヨウ化ナトリウム
アジ化ナトリウム

未知毒物の特性を有する成分

なし

化学物質安全性評価

化学物質安全性評価が行われませんでした。

セクション15に記載されているいくつかの有害成分は、OSHA および WHMIS の 1.0% w/w (発がん物質としては0.1%) 以下、または EU のセクション3で報告義務のある成分の特定濃度以下です。

16 その他の情報

ベックマン・コールター安全基準	可燃性: 0 健康: 2 反応性: 0 物理的接触: 2	コード 0=なし 1=軽度 2=中等度 3=重度
-----------------	---------------------------------------	--------------------------------------

改訂版変更

Section 1の製造業者の所在地を修正
セクション4, 8, 11を更新。
セクション16を更新。

セクション 3からの危険有害性等級及びリスクフレーズ記述

N - 環境に有害
T+ - 非常に有毒
Repr. Cat. 3 - 生殖毒性カテゴリ3
Xi - 刺激物
R28 飲み込むと猛毒。
R32 酸に触れると非常に有毒なガスを発生。
R36/37/38 目、呼吸器系および皮膚に刺激あり。
R63 胎児へのリスクの可能性。

16 その他の情報 (続き)

R50/53 水生生物に非常に毒性であり、水系環境において長期的に悪影響を起す場合があります。

Aquatic Acute 1 - 水生環境有害性 (急性)、カテゴリ1

Acute Tox. Oral 2 - 急性経口毒性、カテゴリ2

Acute Tox. Oral 5 - 急性経口毒性、カテゴリ5

Eye Irrit. 2A - 眼刺激性、カテゴリ2A

Aquatic Longterm 1 - 水生環境有害性 (長期間)、カテゴリ1

Skin Irrit. 2 - 皮膚刺激性、カテゴリ2

STOT SE 3 - 特定標的臓器毒性 (単回暴露)、カテゴリ3

H300 - 飲み込むと生命に危険。

H303 - 飲み込むと害を及ぼすこともあります。

H315 - 皮膚刺激。

H319 - 強い眼刺激。

H335 - 呼吸器への刺激のおそれ。

H400 - 水生生物に非常に強い毒性。

H410 - 長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性。

略語及び頭字語

ACGIH - American Conference of Governmental Industrial Hygienists (ACGIH - 米国産業衛生専門家会議)

ADRおよびRID - European Agreement Concerning The International Carriage Of Dangerous Goods By Road and Rail (陸路および鉄道による危険物の国際輸送に関する欧州協定)

CERCLA - The Comprehensive Environmental Response, Compensation, and Liability Act (CERCLA - 包括的環境対策・補償・責任法)

CLP - Classification, Labeling and Packaging (CLP - 分類、表示および包装)

DFGMAK - Republic Germany's maximum exposure limit (DFGMAK - (独)ばく露許容濃度)

GHS - Globally Harmonized System (GHS - 世界調和システム)

HCS - Hazard Communication Standard (HCS - 危険有害性周知基準)

IARC - International Agency for Research on Cancer (国際がん研究機関)

IATA DGR - 国際航空運送協会危険物規則書

ICAO - 国際民間航空機関

IMDG - 国際海上危険物

IOELVs - European Unions' Indicative Occupational Exposure Limit Values (IOELV - 欧州連合職業暴露限度指針値)

NIOSH - National Institute for Occupational Safety and Health (NIOSH - (米)国立労働安全衛生研究所)

NTP - 国家毒性プログラム

OSHA - Occupational Safety and Health Administration (OSHA - (米)労働安全衛生局)

PBT - Persistent bioaccumulative and toxic substances (PBT - 難分解性・生物蓄積性・毒性物質)

SARA - Superfund Amendments and Reauthorization Act (SARA - (米)スーパーファンド修正・再授權法)

TDG - Canadian Transportation Of Dangerous Goods Regulations (カナダ危険物輸送規則)

16 その他の情報 (続き)

UN GHS - United Nations Globally Harmonized System (UN GHS - 化学品の分類および表示に関する世界調和システム)

US DOT - アメリカ合衆国運輸省

WHMIS - Workplace Hazardous Material Information System (WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム)

vPvB - Very persistent and very bioaccumulative substances (vPvB - 残留性および蓄積性が極めて高い物質)

LC50 - Lethal Concentration, 50% (LC50 - 50%致死濃度)

LD50 - Lethal Dose, 50% (LD50 - 50%致死量)

ここに記載されているBeckman Coulter、ロゴマーク、ならびにベックマン・コールターの商品およびサービスマークは、ベックマン・コールターの米国およびその他の国における商標と登録商標です。

詳細はお近くの Beckman Coulter, Inc. 代理店までお問い合わせください。

は BECKMAN COULTER, INC. はここに記載した内容は有効かつ正確であると考えていますが、BECKMAN COULTER, INC. 有効性、正確性、あるいは通用性を保証もしくは明言するものではありません。BECKMAN COULTER, INC. 当社はこの内容または製品の使用に関し、法的責任もしくは他のいかなる責任も負うものではありません。危険有害物質の廃棄は地域ごとの法律、規則により規制されることがあります。



安全性データシート

文書番号: A41499 Rev. AE
改訂 (年/月/日) 2016/09/29

1. 化学品及び会社情報

製品特定名

製品名 Agencourt Genfind V2 洗浄液 2

製品番号 P/Nの構成 A41497, A41499

物質 / 混合物の関連用途及び推奨されない用途

製品の使用 研究用。詳細は添付文書を参照してください。

本安全性データシートの供給者の詳細情報

製造業者

Beckman Coulter, Inc.
250 S. Kraemer Blvd
Brea, CA 92821, U.S.A.
Tel: 800-854-3633

EC REP 住所

Beckman Coulter Eurocenter S.A.
22, rue Juste-Oliver, Case Postale 1044,
CH-1260 Nyon 1, Switzerland.
Telephone +41 (0)22 365 36 11
Monday through Friday, 9:00 am to
7:00pm)

e-mail アドレス SDSNT@beckman.com

緊急時電話番号

電話番号(24時間対応) Chemtrec 緊急連絡電話番号 米国 800-424-9300、国際電話 (001) 703-527-3887

販売業者および緊急時の連絡先

最寄りの営業所および緊急電話番号に関しては別紙一覧表 (書類番号 : 472050) を参照してください。

2 危険有害性の要約

物質 / 混合物の分類

製品の説明

混合物
無色; 透明; 液体; 無臭

EC 1272/2008 (CLP/GHS)による分類

EC 1272/2008 (CLP/GHS)で危険物に分類されていない

EC指令1999/45/EC及び67/548/EECによる分類

EC 指令 (1999/45/ECおよび67/548 EEC)で危険物質に分類されていない

US-OSHA (HCS 29 CFR 1910.1200)およびUN GHSによる分類

US-OSHA HCS 2012およびUN GHSで危険物に分類されていない

ラベル要素

EC 1272/2008 (CLP/GHS)、US-OSHA、およびUN GHSに準拠
EC 1272/2008 (CLP/GHS)、US-OSHAおよびGHSで危険物に分類されていない

2 危険有害性の要約 (続き)

他の危険有害性

PBTおよびvPvB評価の結果
PBT: 該当しない。
vPvB: 該当しない。

健康に関する詳細はセクション11の毒物に関する情報を参照してください。

3 組成及び成分情報

混合物

危険有害成分:

なし

4 応急措置

応急措置についての記述

吸入した場合

もし本品を吸入した場合、吸入者を空気の新鮮な場所へ移動させてください。呼吸をしていない場合、訓練を受けた人物による人工呼吸を行い、すぐに医師の手当を受けてください。

目に入った場合

もし本品が目に入った場合、念のため緩やかな水道水で目を洗ってください。

皮膚についた場合

皮膚に付いた場合は、念のため水で洗い流してください。

飲み込んだ場合

もし本品を飲み込んだ場合、水で口をすすいでください。刺激や不快感が生じた場合は、すぐに医師の手当を受けてください。

急性及び遅延性の最も重要な症状/影響

健康に関する詳細はセクション11の毒物に関する情報を参照してください。

応急処置及び必要とされる特別な処置の指示

特別な治療や処置は必要ありません。

5 火災時の措置

可燃性特質

非可燃性溶液。

消火剤

火災では二酸化炭素 (CO₂)、粉末消火剤、噴霧水または泡消火剤を用いる。大規模火災では周辺火災に適した消化剤を用いる。

物質 / 混合物から生じる特別な危険有害性

特別な火災及び爆発危険性

特別な危険有害性は確認されていません。

有害燃焼生成物

本製品からは重大な危険性のある燃焼生成物は発生しません。

5 火災時の措置 (続き)

消火作業員への注意

保護具	すべての薬品火災では消防隊員に自給式の呼吸装置を推奨します。
その他の情報	追加の関連情報なし。

6 漏出時の措置

人体に対する予防措置、保護具及び緊急時措置

人体に対する予防措置	保護手袋/保護衣/保護眼鏡/顔面保護具を着用すること。 防護のための一般安全ガイドラインを遵守してください。目および皮膚に触れないようにしてください。
環境に対する予防措置	漏出液を容器に回収し、他への流出を防いでください。 未希釈製品が下水、地表水又は地下水に入らないようにしてください。 地域の規制にしたがって内容物/容器を廃棄すること。
封じ込め及び浄化方法と機材 流出および漏出時の措置	予防措置として、こぼした物質は漂白剤を水で1:10希釈した溶液で処理してください。処理した液を吸引し適切な廃棄用容器に入れてください。作業中は飛沫が生じないように注意してください。適用を受ける廃棄物処理基準に従ってください。
他のセクションへの参照	セクション8 および13を参照してください。

7 取扱い及び保管上の注意

安全な取扱いのための予防措置 安全基準に従ってください。目や皮膚に触れないようにしてください。

混触危険性等、安全な保管条件

製品ラベルに記載のとおり、15~30°Cの範囲で保管すること。
製品の品質を維持するため製品ラベルの記載内容に従い保存してください。
強酸、強塩基、強酸化剤および不適合物質から離して保管してください(セクション10)。

特定の最終用途 追加の関連情報なし。

8 ばく露防止及び保護措置

管理指標	
許容濃度	
米国 OSHA	未設定
ACGIH	未設定
DFG MAK	未設定
アイルランド	未設定

8 ばく露防止及び保護措置 (続き)

IOELVs	未設定
NIOSH	未設定
Japan	未設定
ばく露防止	
設備対策	特に技術的な制御は必要ではありません。良好な通常の換気を使用してください。
眼の保護具	目に入らないように保護眼鏡を着用してください。 U.S. OSHA 29 CFR 1910.133、欧州規格 EN166 又は適切な政府規格を参照。
皮膚の保護具	必要に応じて、保護衣および不浸透性の手袋を着用してください。
呼吸用保護具	通常の使用条件では、本品の使用には保護マスク等の制約はありませんが、換気が適切に行われず過剰量の暴露の恐れがある場合は、資格を有する専門家に保護マスク等の使用を相談してください。

9 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

外観等	液体	比重 (水 = 1.0)	未定・不明
色	無色	溶解性	
透明度	透明	水	混和
臭い	無臭	有機溶媒	未定・不明
pH	5.7 - 8.5 @20°C	n-オクタノール / 水分分配係数	未定・不明
氷点 / 氷結点 / 凝固点	未定・不明	自然発火温度	適用外
沸点	未定・不明	分解温度	未定・不明
引火点	適用外	揮発性	適用外
蒸発率	未定・不明	蒸気圧	未定・不明
燃焼性 (固体、気体)	適用外	粘度	未定・不明
燃焼又は爆発範囲の上限・下限	適用外	爆発性	適用外
蒸気密度	未定・不明	酸化性	適用外
臭いの閾値	適用外		
その他の情報	追加の関連情報なし。		

10 安定性及び反応性

反応性	追加の関連情報なし。
化学的安定性	本品は推奨する保管条件で安定です。
危険有害反応性の可能性	追加の関連情報なし。
避けるべき条件	不適合な物質との接触を避けてください。 熱や直射日光に触れないようにしてください。
混触危険物質	強酸、強塩基、強酸化剤
危険有害性のある分解生成物	重大な危険を引き起こす分解生成物は本品 (水溶液) には含まれていません。

11 有害性情報

毒性影響に関する情報	
危険有害成分の毒性データ	適用外
被曝の主要経路	目との接触、摂取、吸入、および皮膚接触。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	入手可能なデータによる分類対象外です。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	入手可能なデータによる分類対象外です。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	入手可能なデータによる分類対象外です。
発がん性	本品はACGIH (米国産業衛生専門家会議)、IARC (国際がん研究機関)、NTP (米国国家毒性プログラム)、OSHAまたは1272/2008/EC規則により発がん物質として記載されている成分の報告可能濃度である ($\geq 0.1\%$) を含有していません。
生殖細胞変異原性	入手可能なデータによる分類対象外です。
生殖毒性	入手可能なデータによる分類対象外です。
特定標的臓器毒性、単回ばく露	入手可能なデータによる分類対象外です。
特定標的臓器毒性、反復ばく露	入手可能なデータによる分類対象外です。
吸引性呼吸器有害性	入手可能なデータによる分類対象外です。
その他の情報	追加の関連情報なし。

12 環境影響情報

生態毒性	
淡水生物種	情報なし
マイクロトックス	情報なし
ミジンコ	情報なし
淡水藻類	情報なし
残留性と分解性	本品では未定。
生物蓄積性	本品では未定。
土壤中の移動度	本品では未定。
PBT及びvPvB評価の結果	本品では未定。PBT (難分解性、生体蓄積性、毒性を有する物質) : 該当しない、vPvB (極めて難分解性、高い生物蓄積性を有する物質) : 該当しない。
他の有害影響	追加の関連情報なし。

13 廃棄上の注意

廃棄物処理方法	
製品廃棄物の処分	化学残留物や残った化学薬品は、常に特別廃棄物として処理してください。必ず、現地の公害防止法および該当する法令に従って処分してください。現地の該当局、または認可を得た廃棄物処理会社に問い合わせ、確実に法令を順守してください。
包装の廃棄	使用済み/未使用の廃棄物および汚染された包装は国や地方自治体の規定に従い廃棄してください。該当する条件が不明確な場合は当局に問い合わせてください。
その他の情報	欧州廃棄物カタログ18 01 07 : 18 01 06に記載されている化学品以外の化学品。国、州および地方の関係法規に従って廃棄する。

14 輸送上の注意

本品はICAO、IATA DGR、IMDG、US DOT、欧州ADRおよびRID、またはカナダTDGでの輸送上の規制はありません。

14.1 UN/ID番号 : 輸送上規制されない

14.2 出荷名 : 輸送上規制されない

14.3 危険物クラス : 輸送上規制されない

14.4 容器等級 : 輸送上規制されない

14.5 環境有害性 : 輸送上規制されない

14.6 使用者に対する特別な注意事項 : なし

14.7 MARPOL条約附属書IIおよびIBCコードに基づくバルク輸送 : 該当しない

15 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則 / 法規 米国連邦および州の規則

SARA 313	成分の記載はありません。
CERCLA RG's, 40 CFR 302.4	成分の記載はありません。
California Proposition 65	成分の記載はありません。
Massachusetts MSL	成分の記載はありません。
New Jersey Dept. of Health RTK List	成分の記載はありません。
Pennsylvania RTK	成分の記載はありません。

EU規則

このSDSは、EC規則 1907/2006(REACH)及び改正に準拠します。

水質有害性等級 (ドイツ) WGK 1、水質に対してわずかに有害

REACH 1907/2006 EC - 附属書XIV - 認可対象物質リスト。

成分の記載はありません。

EC 指令 (1999/45/ECおよび 67/548 EEC) による分類

EC 指令 (1999/45/ECおよび67/548 EEC)で危険物質に分類されていない

カナダ

本品は危険物としてのWHMIS の基準に該当しません。

PIN 適用外

表示対象成分

なし

未知毒物の特性を有する成分

なし

化学物質安全性評価

化学物質安全性評価が行われませんでした。

セクション15に記載されているいくつかの有害成分は、OSHA および WHMIS の 1.0% w/w (発がん物質としては0.1%) 以下、または EU のセクション3で報告義務のある成分の特定濃度以下です。

16 その他の情報

ベックマン・コールター安全基準	可燃性: 0 健康: 1 反応性: 0 物理的接触: 1	コード 0=なし 1=軽度 2=中等度 3=重度
-----------------	---------------------------------------	--------------------------------------

改訂版変更

Section 1の製造業者の所在地 を修正
 セクション4, 8, 11を更新。
 セクション16を更新。

16 その他の情報 (続き)

略語及び頭字語

ACGIH - American Conference of Governmental Industrial Hygienists (ACGIH - 米国産業衛生専門家会議)
ADRおよびRID - European Agreement Concerning The International Carriage Of Dangerous Goods By Road and Rail (陸路および鉄道による危険物の国際輸送に関する欧州協定)
CERCLA - The Comprehensive Environmental Response, Compensation, and Liability Act (CERCLA - 包括的環境対策・補償・責任法)
CLP - Classification, Labeling and Packaging (CLP - 分類、表示および包装)
DFGMAK - Republic Germany's maximum exposure limit (DFGMAK - (独)ばく露許容濃度)
GHS - Globally Harmonized System (GHS - 世界調和システム)
HCS - Hazard Communication Standard (HCS - 危険有害性周知基準)
IARC - International Agency for Research on Cancer (国際がん研究機関)
IATA DGR - 国際航空運送協会危険物規則書
ICAO - 国際民間航空機関
IMDG - 国際海上危険物
IOELVs - European Unions' Indicative Occupational Exposure Limit Values (IOELV - 欧州連合職業暴露限度指針値)
NIOSH - National Institute for Occupational Safety and Health (NIOSH - (米)国立労働安全衛生研究所)
NTP - 国家毒性プログラム
OSHA - Occupational Safety and Health Administration (OSHA - (米)労働安全衛生局)
PBT - Persistent bioaccumulative and toxic substances (PBT - 難分解性・生物蓄積性・毒性物質)
SARA - Superfund Amendments and Reauthorization Act (SARA - (米)スーパーファンド修正・再授權法)
TDG - Canadian Transportation Of Dangerous Goods Regulations (カナダ危険物輸送規則)
UN GHS - United Nations Globally Harmonized System (UN GHS - 化学品の分類および表示に関する世界調和システム)
US DOT - アメリカ合衆国運輸省
WHMIS - Workplace Hazardous Material Information System (WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム)
vPvB - Very persistent and very bioaccumulative substances (vPvB - 残留性および蓄積性が極めて高い物質)

ここに記載されているBeckman Coulter、ロゴマーク、ならびにベックマン・コールターの製品およびサービスマークは、ベックマン・コールターの米国およびその他の国における商標と登録商標です。

詳細はお近くの Beckman Coulter, Inc. 代理店までお問い合わせください。

は BECKMAN COULTER, INC. はここに記載した内容は有効かつ正確であると考えていますが、BECKMAN COULTER, INC. 有効性、正確性、あるいは通用性を保証もしくは明言するものではありません。BECKMAN COULTER, INC. 当社はこの内容または製品の使用に関し、法的責任もしくは他のいかなる責任も負うものではありません。危険有害物質の廃棄は地域ごとの法律、規則により規制されることがあります。



安全性データシート

文書番号: A41499 Rev. AE
改訂 (年/月/日) 2016/09/29

1. 化学品及び会社情報

製品特定名

製品名 Agencourt Genfind V2 洗浄液 1

製品番号 P/Nの構成 A41497, A41499

物質 / 混合物の関連用途及び推奨されない用途

製品の使用 研究用。詳細は添付文書を参照してください。

本安全性データシートの供給者の詳細情報

製造業者

Beckman Coulter, Inc.
250 S. Kraemer Blvd
Brea, CA 92821, U.S.A.
Tel: 800-854-3633

EC REP 住所

Beckman Coulter Eurocenter S.A.
22, rue Juste-Oliver, Case Postale 1044,
CH-1260 Nyon 1, Switzerland.
Telephone +41 (0)22 365 36 11
Monday through Friday, 9:00 am to
7:00pm)

e-mail アドレス SDSNT@beckman.com

緊急時電話番号

電話番号(24時間対応) Chemtrec 緊急連絡電話番号 米国 800-424-9300、国際電話 (001) 703-527-3887

販売業者および緊急時の連絡先

最寄りの営業所および緊急電話番号に関しては別紙一覧表 (書類番号 : 472050) を参照してください。

2 危険有害性の要約

物質 / 混合物の分類

製品の説明

混合物
無色; 透明; 液体; 無臭

EC 1272/2008 (CLP/GHS)による分類

EC 1272/2008 (CLP/GHS)で危険物に分類されていない

EC指令1999/45/EC及び67/548/EECによる分類

EC 指令 (1999/45/ECおよび67/548 EEC)で危険物質に分類されていない

US-OSHA (HCS 29 CFR 1910.1200)およびUN GHSによる分類

US-OSHA HCS 2012およびUN GHSで危険物に分類されていない

ラベル要素

EC 1272/2008 (CLP/GHS)、US-OSHA、およびUN GHSに準拠
EC 1272/2008 (CLP/GHS)、US-OSHAおよびGHSで危険物に分類されていない

2 危険有害性の要約 (続き)

他の危険有害性

PBTおよびvPvB評価の結果
PBT: 該当しない。
vPvB: 該当しない。

健康に関する詳細はセクション11の毒物に関する情報を参照してください。

3 組成及び成分情報

混合物

危険有害成分:

なし

4 応急措置

応急措置についての記述

吸入した場合

もし本品を吸入した場合、吸入者を空気の新鮮な場所へ移動させてください。呼吸をしていない場合、訓練を受けた人物による人工呼吸を行い、すぐに医師の手当を受けてください。

目に入った場合

もし本品が目に入った場合、念のため緩やかな水道水で目を洗ってください。

皮膚についた場合

皮膚に付いた場合は、念のため水で洗い流してください。

飲み込んだ場合

もし本品を飲み込んだ場合、水で口をすすいでください。刺激や不快感が生じた場合は、すぐに医師の手当を受けてください。

急性及び遅延性の最も重要な症状/影響

健康に関する詳細はセクション11の毒物に関する情報を参照してください。

応急処置及び必要とされる特別な処置の指示

特別な治療や処置は必要ありません。

5 火災時の措置

可燃性特質

非可燃性溶液。

消火剤

火災では二酸化炭素 (CO₂)、粉末消火剤、噴霧水または泡消火剤を用いる。大規模火災では周辺火災に適した消化剤を用いる。

物質 / 混合物から生じる特別な危険有害性

特別な火災及び爆発危険性

特別な危険有害性は確認されていません。

有害燃焼生成物

本製品からは重大な危険性のある燃焼生成物は発生しません。

5 火災時の措置 (続き)

消火作業員への注意

保護具	すべての薬品火災では消防隊員に自給式の呼吸装置を推奨します。
その他の情報	追加の関連情報なし。

6 漏出時の措置

人体に対する予防措置、保護具及び緊急時措置

人体に対する予防措置	保護手袋/保護衣/保護眼鏡/顔面保護具を着用すること。 防護のための一般安全ガイドラインを遵守してください。目および皮膚に触れないようにしてください。
環境に対する予防措置	漏出液を容器に回収し、他への流出を防いでください。 未希釈製品が下水、地表水又は地下水に入らないようにしてください。 地域の規制にしたがって内容物/容器を廃棄すること。
封じ込め及び浄化方法と機材 流出および漏出時の措置	予防措置として、こぼした物質は漂白剤を水で1:10希釈した溶液で処理してください。処理した液を吸引し適切な廃棄用容器に入れてください。作業中は飛沫が生じないように注意してください。適用を受ける廃棄物処理基準に従ってください。
他のセクションへの参照	セクション8 および13を参照してください。

7 取扱い及び保管上の注意

安全な取扱いのための予防措置 安全基準に従ってください。目や皮膚に触れないようにしてください。

混触危険性等、安全な保管条件

製品ラベルに記載のとおり、15~30°Cの範囲で保管すること。
製品の品質を維持するため製品ラベルの記載内容に従い保存してください。
強酸、強塩基、強酸化剤および不適合物質から離して保管してください(セクション10)。

特定の最終用途 追加の関連情報なし。

8 ばく露防止及び保護措置

管理指標	
許容濃度	
米国 OSHA	未設定
ACGIH	未設定
DFG MAK	未設定
アイルランド	未設定

8 ばく露防止及び保護措置 (続き)

IOELVs	未設定
NIOSH	未設定
Japan	未設定
ばく露防止 設備対策	特に技術的な制御は必要ではありません。良好な通常の換気を使用してください。
眼の保護具	目に入らないように保護眼鏡を着用してください。 U.S. OSHA 29 CFR 1910.133、欧州規格 EN166 又は適切な政府規格を参照。
皮膚の保護具	必要に応じて、保護衣および不浸透性の手袋を着用してください。
呼吸用保護具	通常の使用条件では、本品の使用には保護マスク等の制約はありませんが、換気が適切に行われず過剰量の暴露の恐れがある場合は、資格を有する専門家に保護マスク等の使用を相談してください。

9 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

外観等	液体	比重 (水 = 1.0)	未定・不明
色	無色	溶解性	
透明度	透明	水	混和
臭い	無臭	有機溶媒	未定・不明
pH	6.5 - 8.5 @20°C	n-オクタノール / 水分配 係数	未定・不明
氷点 / 氷結点 / 凝固点	未定・不明	自然発火温度	適用外
沸点	未定・不明	分解温度	未定・不明
引火点	適用外	揮発性	適用外
蒸発率	未定・不明	蒸気圧	未定・不明
燃焼性 (固体、気体)	適用外	粘度	未定・不明
燃焼又は爆発範囲の上 限・下限	適用外	爆発性	適用外
蒸気密度	未定・不明	酸化性	適用外
臭いの閾値	適用外		
その他の情報	追加の関連情報なし。		

10 安定性及び反応性

反応性	追加の関連情報なし。
化学的安定性	本品は推奨する保管条件で安定です。
危険有害反応性の可能性	追加の関連情報なし。
避けるべき条件	不適合な物質との接触を避けてください。 熱や直射日光に触れないようにしてください。
混触危険物質	強酸、強塩基、強酸化剤
危険有害性のある分解生成物	重大な危険を引き起こす分解生成物は本品 (水溶液) には含まれていません。

11 有害性情報

毒性影響に関する情報	
危険有害成分の毒性データ	適用外
被曝の主要経路	目との接触、摂取、吸入、および皮膚接触。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	入手可能なデータによる分類対象外です。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	入手可能なデータによる分類対象外です。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	入手可能なデータによる分類対象外です。
発がん性	本品はACGIH (米国産業衛生専門家会議)、IARC (国際がん研究機関)、NTP (米国国家毒性プログラム)、OSHAまたは1272/2008/EC規則により発がん物質として記載されている成分の報告可能濃度である (≥ 0.1%) を含有していません。
生殖細胞変異原性	入手可能なデータによる分類対象外です。
生殖毒性	入手可能なデータによる分類対象外です。
特定標的臓器毒性、単回ばく露	入手可能なデータによる分類対象外です。
特定標的臓器毒性、反復ばく露	入手可能なデータによる分類対象外です。
吸引性呼吸器有害性	入手可能なデータによる分類対象外です。
その他の情報	追加の関連情報なし。

12 環境影響情報

生態毒性	
淡水生物種	情報なし
マイクロトックス	情報なし
ミジンコ	情報なし
淡水藻類	情報なし
残留性と分解性	本品では未定。
生物蓄積性	本品では未定。
土壤中の移動度	本品では未定。
PBT及びvPvB評価の結果	本品では未定。PBT (難分解性、生体蓄積性、毒性を有する物質) : 該当しない、vPvB (極めて難分解性、高い生物蓄積性を有する物質) : 該当しない。
他の有害影響	追加の関連情報なし。

13 廃棄上の注意

廃棄物処理方法	
製品廃棄物の処分	化学残留物や残った化学薬品は、常に特別廃棄物として処理してください。必ず、現地の公害防止法および該当する法令に従って処分してください。現地の該当局、または認可を得た廃棄物処理会社に問い合わせ、確実に法令を順守してください。
包装の廃棄	使用済み/未使用の廃棄物および汚染された包装は国や地方自治体の規定に従い廃棄してください。該当する条件が不明確な場合は当局に問い合わせてください。
その他の情報	欧州廃棄物カタログ18 01 07 : 18 01 06に記載されている化学品以外の化学品。国、州および地方の関係法規に従って廃棄する。

14 輸送上の注意

本品はICAO、IATA DGR、IMDG、US DOT、欧州ADRおよびRID、またはカナダTDGでの輸送上の規制はありません。

14.1 UN/ID番号 : 輸送上規制されない

14.2 出荷名 : 輸送上規制されない

14.3 危険物クラス : 輸送上規制されない

14.4 容器等級 : 輸送上規制されない

14.5 環境有害性 : 輸送上規制されない

14.6 使用者に対する特別な注意事項 : なし

14.7 MARPOL条約附属書IIおよびIBCコードに基づくバルク輸送 : 該当しない

15 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則 / 法規 米国連邦および州の規則

SARA 313	成分の記載はありません。
CERCLA RG's, 40 CFR 302.4	成分の記載はありません。
California Proposition 65	成分の記載はありません。
Massachusetts MSL	成分の記載はありません。
New Jersey Dept. of Health RTK List	成分の記載はありません。
Pennsylvania RTK	成分の記載はありません。

EU規則

このSDSは、EC規則 1907/2006(REACH)及び改正に準拠します。
 水質有害性等級 (ドイツ) WGK 1、水質に対してわずかに有害
 REACH 1907/2006 EC - 附属書XIV - 認可対象物質リスト。
 成分の記載はありません。

EC 指令 (1999/45/ECおよび 67/548 EEC) による分類

EC 指令 (1999/45/ECおよび67/548 EEC)で危険物質に分類されていない

カナダ

本品は危険物としてのWHMIS の基準に該当しません。

PIN 適用外
 表示対象成分

なし

未知毒物の特性を有する成分

なし

化学物質安全性評価

化学物質安全性評価が行われませんでした。

セクション15に記載されているいくつかの有害成分は、OSHA および WHMIS の 1.0% w/w (発がん物質としては0.1%) 以下、または EU のセクション3で報告義務のある成分の特定濃度以下です。

16 その他の情報

ベックマン・コールター安全基準	可燃性: 0 健康: 1 反応性: 0 物理的接触: 1	コード 0=なし 1=軽度 2=中等度 3=重度
-----------------	---------------------------------------	--------------------------------------

改訂版変更

Section 1の製造業者の所在地 を修正
 セクション4, 8, 11を更新。
 セクション16を更新。

16 その他の情報 (続き)

略語及び頭字語

ACGIH - American Conference of Governmental Industrial Hygienists (ACGIH - 米国産業衛生専門家会議)
ADRおよびRID - European Agreement Concerning The International Carriage Of Dangerous Goods By Road and Rail (陸路および鉄道による危険物の国際輸送に関する欧州協定)
CERCLA - The Comprehensive Environmental Response, Compensation, and Liability Act (CERCLA - 包括的環境対策・補償・責任法)
CLP - Classification, Labeling and Packaging (CLP - 分類、表示および包装)
DFGMAK - Republic Germany's maximum exposure limit (DFGMAK - (独)ばく露許容濃度)
GHS - Globally Harmonized System (GHS - 世界調和システム)
HCS - Hazard Communication Standard (HCS - 危険有害性周知基準)
IARC - International Agency for Research on Cancer (国際がん研究機関)
IATA DGR - 国際航空運送協会危険物規則書
ICAO - 国際民間航空機関
IMDG - 国際海上危険物
IOELVs - European Unions' Indicative Occupational Exposure Limit Values (IOELV - 欧州連合職業暴露限度指針値)
NIOSH - National Institute for Occupational Safety and Health (NIOSH - (米)国立労働安全衛生研究所)
NTP - 国家毒性プログラム
OSHA - Occupational Safety and Health Administration (OSHA - (米)労働安全衛生局)
PBT - Persistent bioaccumulative and toxic substances (PBT - 難分解性・生物蓄積性・毒性物質)
SARA - Superfund Amendments and Reauthorization Act (SARA - (米)スーパーファンド修正・再授權法)
TDG - Canadian Transportation Of Dangerous Goods Regulations (カナダ危険物輸送規則)
UN GHS - United Nations Globally Harmonized System (UN GHS - 化学品の分類および表示に関する世界調和システム)
US DOT - アメリカ合衆国運輸省
WHMIS - Workplace Hazardous Material Information System (WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム)
vPvB - Very persistent and very bioaccumulative substances (vPvB - 残留性および蓄積性が極めて高い物質)

ここに記載されているBeckman Coulter、ロゴマーク、ならびにベックマン・コールターの商品およびサービスマークは、ベックマン・コールターの米国およびその他の国における商標と登録商標です。

詳細はお近くの Beckman Coulter, Inc. 代理店までお問い合わせください。

は BECKMAN COULTER, INC. はここに記載した内容は有効かつ正確であると考えていますが、BECKMAN COULTER, INC. 有効性、正確性、あるいは通用性を保証もしくは明言するものではありません。BECKMAN COULTER, INC. 当社はこの内容または製品の使用に関し、法的責任もしくは他のいかなる責任も負うものではありません。危険有害物質の廃棄は地域ごとの法律、規則により規制されることがあります。